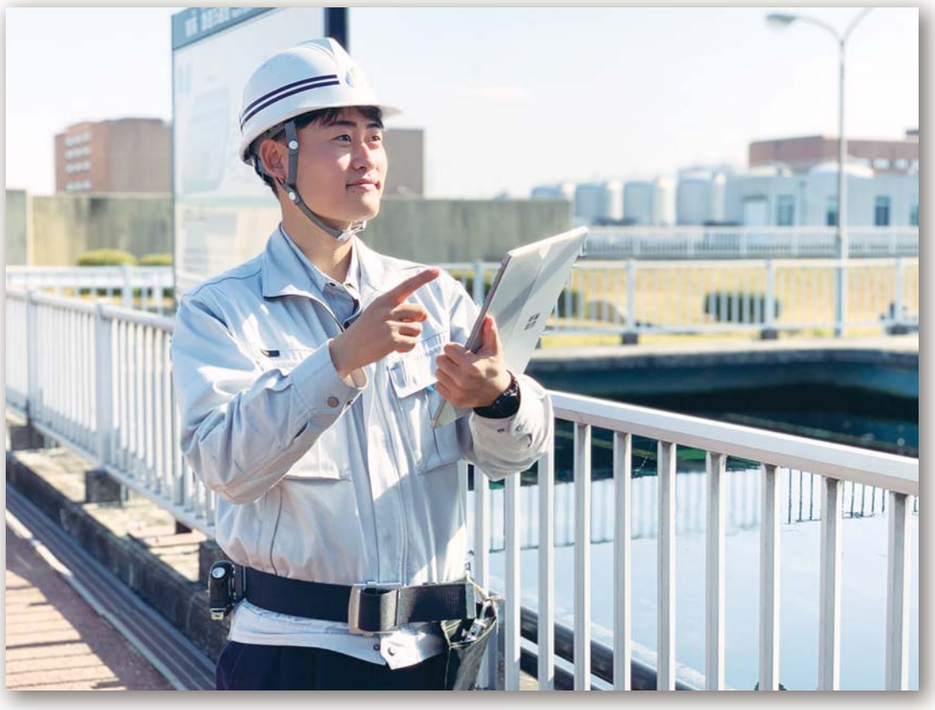
水を仕事にする



最先端の環境、安定と挑戦

■変わりゆく社会

大学、高専、専門学校、高校、それぞれの学びの場が置かれる環境は、コロナ禍により大きく変化した。

授業、サークル・部活動、友人関係やアルバイトのあり方の変化は、社会人を取り巻く環境の変化よりも劇的なものだったように思う。そしてコロナ禍は、働くこと、就職することへの考え方にもそれぞれの目線で影響を及ぼしたのではなかろうか。

この新聞で紹介する「水を仕事にする」企業は、コロナ禍前と変わらずに、もしくはこれまで以上に次世代の力を求めている。

■不変な水の仕事

水の仕事の特徴の一つは「安定性」だ。水は生き物が存在する限り不可欠な存在であることは言うまでもない。

水の存在感はコロナ禍により一層高まった。感染症予防のための安全な水による手洗いとうがいが多くの人の習慣として定着した。コロナ禍以降、全国の水道使用量は増加傾向となっている。

使う水だけでなく、使った水への注目も高まる。下水道を流れる水に集まる情報が感染症の流行の兆候を一早く捉える存在として関心を呼んでいる。

そして、各地で相次ぐ豪雨災害は、水の姿が大きく変わった結果であり、もたらされる災害から人の命と営みを守ることが水の仕事の使命となる。

恵みと災い、双方の視点から水の仕事は不可欠な存在であり、人々の暮らしと営みに安定をもたらす役割の中で、仕事の「安定性」をもたらしている。

■変えていく挑戦

ただ安定しているわけではなく、そこには挑戦のフィールドも大きく広がっている。

今、1億2000万人を超える日本の人口は2050年には1億人、2100年には6000万人にまで減少すると予想されている。そして今あるインフラは時とともに老朽化していく。

現存する上下水道のインフラを今の形で残していくことは現実ではない。

安定を維持していくため、変えていくことがこれからの水の仕事に求められる挑戦だ。

国際社会も変わっていく。言うまでもなく、世界でも水の仕事は不可欠な存在だ。日本とは対照的に世界の人口は増加を続けている。人が増え、水が不足し、水インフラの整備ニーズは拡大の一途をたどる。しかし、拡大はいつまでも続かない。日本の未来は、世界の未来になる。

日本で水を仕事にすることは、世界の最先端を走ることになる。

■水から見る社会

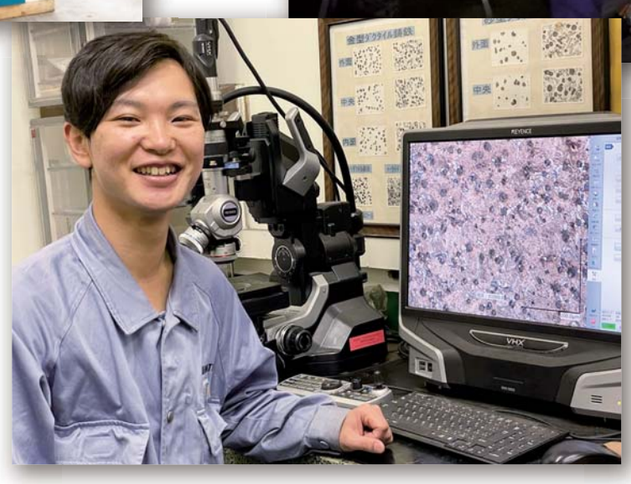
変わっていく社会の中で、水の恩恵を変わらずに享受し、命と営みを守っていくための「水を仕事にする」企業の挑戦。そこで働く人々の姿から「水を仕事にする」選択を広げてほしい。

変わっていくこと、変わらないこと、劇的に変化を遂げるコロナ禍の今だからこそ、水から見えてくるものがある。









目　次

〈ワークスタイル〉

若手社員の1日……6～8面
管清工業、クボタ、水道機工、大成機工、東京都下水道サービス、フソウ

〈各企業 仕事の現場〉

各社が誇る、現場で活躍する社員……9～14面
三水コンサルタント、安部日鋼工業、クボタ環境サービス、ヴェオリア・ジェネッツ、荏原実業、オリジナル設計、栗本鐵工所、極東技工コンサルタント、三機工業、ＪＦＥアドバンテック、水ingAM、月島機械、東京水道、東京設計事務所、トーケミ、日本原料、日本水工設計、ＮＪＳ

〈就活ガイド〉

上下水道関係企業 採用スケジュール……15～18面
上下水道業界マップ……19面

〈上下水道の今〉

水の仕事に興味を持ったら
知っておきたいキーワード……20面

日本水道新聞

発行所
日本水道新聞社
本社：〒102-0074
東京都千代田区九段南4-8-9
TEL 03(3264)6721
FAX 03(3264)6725
編集部直通 03(3264)6722
大阪支社：〒541-0051
大阪市中央区備後町3-3-9
TEL 06(6125)3630
FAX 06(6125)3866
http://www.suido-gesuido.co.jp

水ing 株式会社
新卒採用サイト▼

日本水道新聞社 特設サイトでデータ版公開

就職活動応援特集

日本水道新聞／日本下水道新聞 共同編集



若手社員の1日

管清工業

大阪支店 公共事業部 営業課 **大久 日菜さん**

社会生活の基盤を支えるプライド

コロナ禍でもインフラを支える



余暇に趣味のギターを楽しむ



■下水道管の維持管理

私たちの生活に欠かせないインフラ、下水道。管清工業は、下水道管内の清掃・調査・補修といったメンテナンス業務を手掛ける会社で、下水道のほかにも宅内の給排水設備や鉄道関係施設も担い、快適な日常生活を支えている。

入社2年目の大久さんは、公共事業部営業課に所属。主に地方公共団体の下水道担当部署を対象に、下水道の維持管理業務に関することや自社で開発した新技術の営業を行っている。「いつもほとんど外に出ています」と笑うように、朝礼を終えると早速社用車で出かけ、夕方まで営業回り。一日で4～5件ほど客先を回るのだという。

この1年の感想は「入社早々に1カ月間の自宅待機となるなど大変なこともありましたが、毎日新しい経験の連続で、充実していました」。これまでは先輩に同行しての営業回りだったが、7月からは晴れて「独り立ち」となり、担当顧客も受け持つ。「とにかく『やるしかない』という気持ちです」と前のめりの姿勢だ。

■社会貢献への思い

入社のきっかけは「男女関係なく活躍したい」の一心だった。就活を進めていくうちに「社会に貢献できる仕事がしたい」との気持ちも芽生えてきた中で、合同説明会で管清工業に出会い、下水道を陰ながら支える仕事内容に惹かれ、入社を決めた。

営業活動を行う一方で、研修の一環で作業服を着て現場業務に当たったこともある。作業現場を見かけた市民から「ご苦労さま」と声をかけられたのが印象に残っている。「目立たない私たちの仕事に安心感がある。「社会貢献ができるというやりがいと、安心して働くことができる環境があることが会社の強みです」と力強く語ってくれた。

■生活支えるプライド

現場業務を担うため、コロナ禍でも事務系部署を除き基本的に全員出社だというが、感染対策には常に気を配っている。ちなみに、大久さんの昨年の自宅待機期間は「下水道管路技術認定試験の勉強を「就職活動は、入ってみないとわからない世界がほとんどだと思います」。先が見えない世相で、下水道という新しい世界に飛び込んだ大久さん自身の経験から出る正直な言葉だ。「毎日新しい経験をしながら、一緒に社会貢献をできたらいいと思います」。

人々の生活を支えるプライドを持って、日夜仕事に励んでいる。

1日のスケジュール

8:00	始業　メールチェックと返信
8:30	朝礼
9:00	営業訪問 社用車で外出し、2～3件客先回り
12:00	昼休み
13:00	午後の業務開始 引き続き客先回り 一日でおよそ4～5件の客先を訪問する
16:30	帰社 見積書作成、書類作成など事務作業を行う
17:30	終業

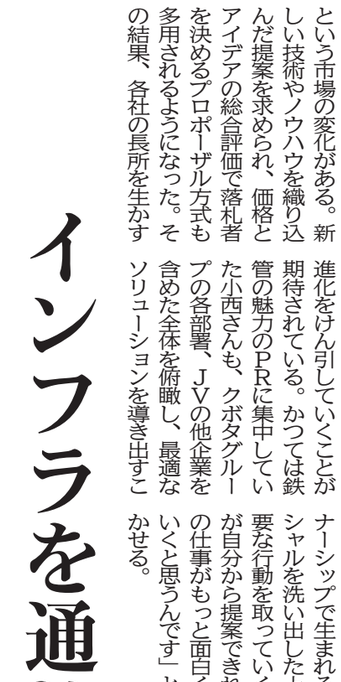
クボタ

水環境事業本部
水環境ソリューション開発部 営業課 **小西 ちぐささん**

最適なソリューション提案へ

安心して働ける制度面に信頼

インフラを通じて社会に貢献





多くの打ち合わせや会議に参加



クボタで製造できる最大口径（φ2600㍉）の鉄管と

■入社の決め手、そして水への想い

大学時代に所属していた海外農業研究会の活動で、内モンゴル自治区やトンガ、ブルガリア等を訪れた。私が日本に生まれたのは〝たまたま〟だ。日本の技術を世界に展開すれば人々に豊かな時間をもたらすことができると感じた。

就職については、5本の軸を決めていた。①創業から100年以上続いていること。②事業が多角的であること。③海外拠点があること。④挑戦できる気風があること。⑤女性が長く活躍できること。クボタはすべての条件を満たしていた。

入社して、東日本大震災1年後というタイミングで東北支社に鉄管営業として配属された。赴任3日目に津波被災地区を訪れた。「人が住んでいたとは思えないような光景を目にして、どうしたら復興に貢献できるだろうと考えるようになった」と小西さんは言う。それから5年3カ月にわたって東北各地の現場を訪れ、復興に携わった。その経験が今の自分のベースになっている。

次の異動先は鉄管工場だった。ここでは、鉄管を造る最前線で働く人々を総務職として支えた。そうして施工現場と製造の両方を間近で見るうちに、安心・安全な水を人々に供給する鉄管に関わり、業界首位の会社で働くことにやりがいを感じるようになった。「水がなければ何もできない、ベースは水だ」と思うようになった。

■付加価値の可能性を追求

現在所属するのは、昨年1月に発足した水環境ソリューション開発部である。上下水道の施設・管路を幅広く取り扱う、クボタとしては革新的な部署だ。

背景には、自治体の発注方式がDB（設計・施工）、DBO（設計・施工・運転管理）といった複数業務を包括する方向にシフトし、20年以上にわたる長期案件も増えてきたという市場の変化がある。新しい技術やソウハウを織り込んだ提案を求められ、価格とアイデアの総合評価で落札者を決めるプロポーザル方式も多用されるようになった。その結果、各社の長所を生かすことが仕事となった。

そこに直結するのが、未来のあるべき姿から今なすべきことを逆算する〝バックキャスティング〟の考え方だという。「まずは自社、次に他社、そして地域の持つ可能性をそれぞれ理解し、さらにパートナーシップで生まれるポテンシャルを洗い出した上で、必要な行動を取っていく。これが自分から提案できれば、今の仕事がもっと面白くなっていくと思うんです」と目を輝かせる。

■無限に広がるフィールド

クボタの魅力は、食料・水・環境の三つの輪で世界中の人々の生活を支えられることである。ブランドステートメントの〝For Earth, For Life〟が示すように、地球上の人々の幸せな生活を支える事業を展開していることが社員の誇りとなっている。

福島県双葉町の放射性廃棄物の減容化プロジェクトなど、「こんなところにも」と驚くような社会課題解決に取り組むクボタの事業は数えきれない。製品や分野にとらわれないソリューション提供を強化していくことで、クボタグループの底力を発揮できるフィールドはさらに広がっていく。「インフラを通じてより多くの人々に貢献したい」という目標に向けて、小西さんは着実に歩んでいる。

1日のスケジュール〈出社の場合〉

8:30	メールチェック、業務内容の確認
9:30	オンライン朝礼
10:30	社内共有会議（進捗を他部門に報告）
12:00	昼休み
13:30	外出（他社との合流会議）
15:00	会社に戻り会議議事録作成 課題について整理、分析、情報収集
18:00	終業





就職活動応援特集

水道機工

装置・設備で安定供給に貢献

若手の活躍を支える社風が魅力

プラント事業部技術部上水技術2課 **佐藤 弘菜**さん



■適材適所の装置・設備設計

水道機工は、浄水場や下水処理場などの水処理プラントに導入される設備の設計、施工、運転、維持管理等を取り扱う「水処理総合エンジニアリング」であり、その高い技術力で日本の上下水道事業の発展に貢献してきた1936年創立の老舗だ。佐藤弘菜さんが所属する上水技術2課は、水道水づくりの要とも言える浄水場や、そこに納める設備の設計を中心に扱う。

大学では微生物の研究をしていた佐藤さん。就職活動を進める中、「人の生活に欠かせないもの」である水インフラに惹かれた。今年度で入社2年目ながら、すでに膜ろ過装置や浄水処理の過程に不可欠な薬品注入設備の設計を掛け持ち、より大きな案件を担う先輩社員のサポートも務める。若手でも活躍できる環境や、それを支える社風も入社を決めた理由の一つだった。

「浄水場の装置・設備」と一言でいっても、地域特性などによって要求されるスペックはさまざまだ。よって、適切な仕様となるよう、納入先である地方自治体等の水道事業者と丁寧にヒアリングを重ねることが設計業務の肝となるため、日々の仕事では積極的なコミュニケーションを心掛けている。「まだまだ分からないことが多いので、疑問に思ったらとにかく聞きまくります！」と笑顔で話す。

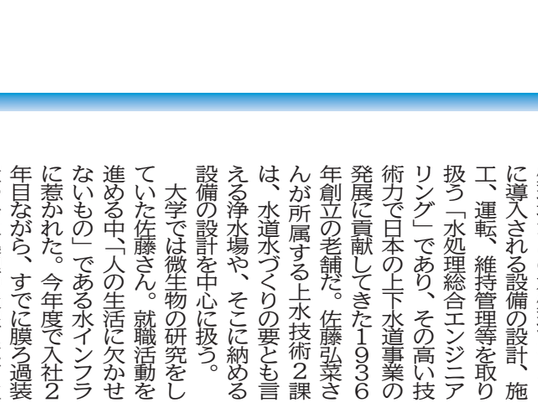
先ごろ、自身のアイデアを取り入れて設計した膜ろ過装置が完成したそう。それまで「図面」として接してきた装置の実物を目の前にした時、大きな達成感とやりがいを感じたという。その装置はまだ検査段階とのことで、「実際に動き出したらもっとすごい感動があるだろうなぁ」と目を輝かせる。

■日々の過ごし方

佐藤さんの日常業務はデスクワークが中心で、出社後のメールチェックから1日が始まる。その後は上司や先輩とその日の仕事内容を確認、午前中には社内の打ち合わせが入ることも多いという。午後は必要に応じてメーカーや納入先の水道事業者などと電話で連絡を取りつつ、図面と向き合う。

コロナ禍の影響でリモートワークが多かった昨年度と比べ、今は出社する頻度が増えたほか、今年度からはオフィスがリニューアルされ、フロア内がフリーアドレスになったことで、それまで席が遠かった人と会話する機会が増えて新鮮だという。

「仕事と自分の時間が両立できている」と話す佐藤さん。終業後は、大学時代から続けているラクロスを楽しむ。現在は社会人のクラブチームに所属し、データ分析を得意とする「アナライジングスタッフ」としてチームを支えている。土日もチームの練習に参加するが、早く終わった日にはお気に入りのパン屋を巡り、もう一つの凝っている趣味であるパン作りのヒントを探す。



社内外の綿密なコミュニケーションを意識



趣味のラクロスではデータ分析でチームを支える

■水業界に携わる誇り

水業界に対して、「就職活動を始めた頃は『堅い』というイメージを持っていた」が、足を踏み入れてから1年強が経ち、今では「想像した以上に業界全体として新しいことに挑戦していて、活躍している若手も多い」と印象も変わった。蛇口をひねると当たり前のように水が出てくる日常の中、自分の仕事が多くの人々の生活に関わっていることに、ふと思いを巡らせる時、「水業界を選んで良かったな」と感じるのだそう。「今は着々と経験を積んで、いつか浄水場の工事全体に一貫して携われるようになれたら」と語る向上心がこれからも大きな原動力となる。

1日のスケジュール

9:00	始業 メールなど連絡事項の確認
10:00	上司や先輩と業務内容を確認 社内打ち合わせ
12:00	昼休み
13:00	社外打ち合わせ
15:00	図面作成 電話対応 翌日の準備
18:00	退勤

大成機工

平常時から緊急時まで寄り添う

責任と信頼関係が仕事の基礎

大阪営業部 **石生 幸久**さん



■コミュニケーションが肝

24時間365日止まることのない水道。大成機工は、水道管内の水を流したまま作業することができる「不断水工法」を業界に先駆けて開発した企業として名高い。入社4年目の石生さんは、営業担当として、兵庫県内の水道事業体や工事会社、商社、設計会社などを訪問し、コミュニケーションを通じて相手の困りごとや悩みを聞き出し、解決につなげるための提案を行っている。

営業で一番大事なことは「用事がなくとも、お客さまを訪問してコミュニケーションを図ること」だという。初めて一人で担当した案件で注文をもらった時のことを、「工事業者や商社などから情報を集めて、がむしゃらに一つの案件を追いかけた結果、初めていただいた注文でした」と振り返る。コロナ禍以降は足を運ぶ回数そのものは減ったが、電話等のツールを駆使して常にコミュニケーションは欠かさない。

■インフラつなぐ信頼関係

成長を実感した時は「オフィスではなく、自分の携帯電話に直接連絡をもらったことです」と話す。名刺の名前の下には、携帯番号が記載されている。「直接携帯に連絡してもらえることは、名前を覚えてもらったということ。営業としての一つのステップです」とはにかむ。

時には緊急対応に追われることもある。漏水事故等が発生し、修繕対応に必要な補修材等を求める電話が休日に突然かかってくることがあるそうだ。その対応は、まず電話口で事故が起きた管の種類や口径といった情報を聞き出して まとめ、見合った補修材を割り出し、その在庫を確認。その後、場合によっては運送会社へ出荷の段取りを行うほか、近場であれば自ら現場に運び届けることもあるそうだ。三田工場では、有事に備えて24時間体制で必要な資機材を提供できるよう稼働している。

事故は時間との勝負。「適切な材料をすぐに判断できるようになるには経験が必要です。漏水の発生箇所はすぐには特定できないため、考えられるものはすべて持っていくと、その中に正解がある可能性が高くなります」。その言葉にはインフラを支えるメーカーとしての誇りと責任感がにじむ。緊急対応を求められることも、築いた信頼関係があってこそだ。



不断水工法で水道を支える



趣味のドライブで奈良県十津川村へ

■休日の多様さが魅力

ドライブが趣味だが、最近は特に遠出は控えるようになり、近頃の休日はもっぱら家で過ごしているという。

休日が多く、有給休暇などが取りやすいことが魅力の一つという石生さん。完全週休2日制で、夏季や年末年始には有給休暇と別枠の休暇があるほか、「アニバーサリー休暇」というユニークな休暇制度もある。年1～2日付与され、好きな日に使うことができる。自分や家族の誕生日など、特別な行事に充てる社員が多いそうだ。休暇の充実は、仕事を続ける上で安心できる要素といえる。

■リモート体制も充実

就職活動では、金融など他業界も幅広く活動していた石生さん。その中でインフラ業界は「安定性と社会貢献」が特徴だと分析する。「大成機工と出会ったのは偶然でしたが、文理を問わずいろいろな観点から水という不可欠なものに携われるのが魅力だと思います。私たちは当たり前を生きていますが、それを支えているかけがえのない仕事が社会貢献です」。

大成機工ではコロナ禍以降、三田工場内にサテライトオフィスを開設。現在石生さんは、三田市内の会社寮からサテライトオフィスに通っている。そのほか時差出勤やリモートワークなど、会社として人を分散させる対策を講じながら、人々の当たり前を支えている。

1日のスケジュール

9:00	始業 サテライトオフィスに出勤 見積書作成、説明資料作成など事務作業
12:00	昼休み
13:00	外出 社用車で兵庫県内の事業体や工事業者を訪問 工法説明、製品・物件情報集め 地元施工業者との工程調整
15:00	商社訪問 情報交換、値決め
18:00	帰宅 感染防止のため営業先に直行・直帰も多い

Water
Air
Ground
私たちには、水と空気、
そして緑の大地を「守る技術」があります。
地球と一緒に深呼吸
荏原実業株式会社
www.ejk.co.jp
【本社】〒104-8174 東京都中央区銀座 7-14-1 TEL: 03-5565-2881 FAX: 03-5565-2894

For Earth, For Life
Kubota
澄みきった世界を広げていく。
わたしたちは、水・環境施設の設計・建設から
維持・運転管理に至るまでトータルサポートし続けます。
より快適な生活環境を創造するために。
webにて動画配信中
お手持ちのスマートフォンで QR コードから動画をご覧いただけます。
クボタ環境サービス株式会社
http://www.kubota-ksk.co.jp/
〒104-8307 東京都中央区京橋 2-1-3 TEL 03-6281-9910

若手社員の1日

東京都下水道サービス

技術部 技術開発課 土木調査担当主事 **坂本 和輝**さん

ベストミックスで技術を磨く

現況を把握し設計に反映


地下の下水道管内に入り状況を確認

性能を発揮するので、既設管がどれだけの強度を有しているかによって、更生管のスペックが変わってきます。そのため既設管の劣化等の現況をしっかり把握して、それに基づき構造解析を行って設計図を作成します。これを調査業務と言います」と語る坂本さん。

初めて責任者として担当した調査業務の案件は、下水道局が発注した下水道管のある路線の再構築調査で、昨年秋に着手し今年5月に全区間の工事発注に必要な図書を完成させた。最初の1~2週間は、既設管の調査を協力会社のコンサルタントに委託して行った。管内の状況や勾配、流量などを調べる目視調査に加え、管自体がどこまで劣化しているかを調べる構造調査ではクリートや鉄筋の一部を採取して、強度試験を行います」という。

コンサルタントが作成した調査データを基に、スパン単位で構造解析のモデルを作成するのだが、これは坂本さんの業務の核となる仕事である。「現場の状況を正確に捉えることが、最適な設計につながります。SPRの施工は耐震性能も求められますので、管の土被りや周囲地盤の状況もモデルに反映させます」。モデルに基づき、コンサルタントが構造計算を行い設計図を作成する。工事発注に必要な図書が求められた条件を満たしているか、発注者である局の担当者を交えてチェックを行い、修正すべき点を共有する。区間内の全スパンの設計図について、チェックを完了して局に提出を終えるまで約半年間となった。

引き続き、新たな案件を担当している坂本さんだが「自分の努力が設計図という成果品に反映され、さらに施工という形で街の一部になることに達成感を感じます」とやりがいを語った。

■一を聞けば百が返ってくる

坂本さんは高等専門学校では土木、大学・大学院で化学を専攻したが、土木に軸足を置いた仕事をしたいとTGSに入社。一足先に高専の同級生が入社していたため、業務内容はおおむね把握していたものの「コンサルタントや建設会社などと協力しながら仕事を進めるに当たって、核となるマネジメントをTGSが担っていることを入社して実感した」という。

土木調査担当のメンバーは長らく下水道局のOB社員や局から派遣された社員のみであったので、坂本さんが新入社員第1号となり、さらに今年度に2人目の新人社員が配属された。「周りはベテランの方ばかりなので、図面だけではわからない現場の状況や困った時の解決策を詳細に教えていただけます。まさに一を聞けば百が返ってくる環境です。局が長い歴史の中で培ってきた技術力を、ベテランの方々から吸収し受け継いでいきたいと思います」と抱負を語る。「TGSはOB社員や局派遣社員など、さまざまな立場の人によるベストミックスのサポート体制が整っています。技術を磨き成長したい方の入社をお待ちしています」と力を込めた。

1日のスケジュール（オフピーク通勤実施中）

8:00	始業　メールチェックと返信 月1~2回は進捗報告のミーティングも 打ち合わせに向け作成した資料のチェック
10:00	打ち合わせ 作成した設計図について、下水道局とコンサルタントの担当者と打ち合わせ
12:00	昼休み
13:00	午後の業務開始 調査データの確認と構造解析モデルの諸元確認 設計図のチェックとコンサルタントへの訂正指示 時には担当区域の地上部確認で現場に足を運ぶことも
16:45	終業

フソウ

ソリューションデザイン事業部
事業企画部 官民連携推進課 **齋藤 真太朗**さん

地域ごとの最適解の具現化へ

幅広い事業に無限の可能性が


多くの会議はオンライン


ドライブ先で撮影した1枚

をしっかりと把握し、中長期的な視点で管理・更新していく〝アセットマネジメント〟がますます重要になっていくとみている。現在の仕事に対して「上下水道の担い手が減少していくことも踏まえ、省人化・省力化を一つのテーマとした上で、まずは施設の運転や維持管理、ゆくゆくは施設・管路一体で技術提案していきたい」と意欲を語る。事業を広く展開する企業だからこそ、その提案は無限の可能性を秘めている。官民の壁が低くなっていく中で、「官と民がより手を取り合って課題を解決する」ことを理想として取り組んでいく。

業務は出社と在宅勤務がおよそ半々の割合で、いずれにしてもメールや電話、オンライン会議システムによる打ち合わせが多くの時間を占める。コンビを組む課長は営業経験が長く、人と話すスキルに長け、フランクに話を聞いてくれる頼れる存在だ。さらに部としても、全社的にも「とにかくキャラクターが豊富」とのことで、「その多様性が良い化学反応を起こしている気がします」と風通しの良い社風を窺わせた。

■広がった視野を生かし

4年と少しのキャリアの中で、受注者と発注者、両方の目線で水道に向き合う機会に恵まれた。新人研修後はまず工事現場の施工管理を担当し、受注企業の立場でおよそ1年間、監督業務や書類作成に従事した。昨年度末までの2年半は、水道技術に関する調査研究を行う公益財団法人「水道技術研究センター」に出向。同じく派遣されてきた事業体職員と机を並べ、またセンターの特徴である産官学の共同研究などを通じて、発注者側の考え方の一端に触れた。「視野が大きく広がったように思います」という貴重な経験は、相手の立場に寄り添い、より良い提案につなげていくという今の仕事にも生きるはずだ。

環境・生物分野への貢献や「水インフラで人々の生活を支える」という入社時の志は、これまでの仕事で実現できているとは言い難い。ただ、「何事にも興味を持って取り組めば、思わぬところで一つひとつの経験が未来につながってくるはず」と笑顔で話す。その先に見据えるのは、SDGsにもつながるような大きな理念なのかもしれない。

◇　◇

趣味はドライブ。訪れた先で温泉や食べ歩き、写真撮影を楽しむ。平日の夜は近くの銭湯に繰り出すことも多く、「コロナ禍が収まったら、下町の銭湯巡りにもチャレンジしたい」という。

1日のスケジュール

8:30	予定確認、朝礼
8:50	情報収集・精査、資料作成
12:00	昼休み
13:00	資料の内容確認、打ち合わせ
17:25	終礼
18:00	帰宅

水道水の水質を遠隔で自動監視
新製品 水質監視装置 QWシリーズ
最大6項目の屋外自立盤タイプ（QW-6PHTシリーズ）と最大4項目のコンパクトタイプ（QW-3000/4000）のラインナップ！
自動測定（濁度、色度、残留塩素、水圧、pH、水温）
メンテナンス性の向上（保守、交換部品を扉側に集中配置）
自動洗浄機能（濁度、色度、残留塩素）
自動ゼロ点校正機能（濁度、色度）
QW-3000/4000
QW-6PHTシリーズ
JFE アドバンテック 株式会社
URL：http://www.jfe-advantech.co.jp/
本社水環境事業部 TEL.0798-66-1502 FAX.0798-65-7025　名古屋支店 TEL.052-565-0070 FAX.052-565-0072
東京支社 TEL.03-5825-7360 FAX.03-5825-5591　中国・四国支店 TEL.086-440-1580 FAX.086-447-3309
東北支店 TEL.022-711-7535 FAX.022-711-7534　九州支店 TEL.092-263-1671 FAX.092-263-1675



株式会社 栗本鐵工所
パイプシステム事業部
■本　社／〒550-8580 大阪市西区北堀江1丁目12番19号 TEL（06）6538-7641
■東京支社／〒108-0075 東京都港区港南2丁目16番2号 TEL（03）3450-8510
■支　店／●北海道支店 TEL（011）281-3302 ●中国支店 TEL（082）247-4133
●東北支店 TEL（022）227-1873 ●九州支店 TEL（092）451-6623
●名古屋支店 TEL（052）551-6932

就職活動応援特集

各社が誇る、現場で活躍する社員



三水コンサルタント
西日本事業本部西日本事業部
大阪技術部

足立 崇光さん

お互い高みを目指そう

■大勢のノウハウが集結する会社

私は大学でリン回収について専攻していました。大学がある徳島県では当時、下水道普及率が全国ワースト1であったことから、大雨による道路冠水をたびたび目にしていました。その経験から下水道に関心を持ち、下水処理においてリン除去が重要な役割を担っていることを知り、大学の先輩に三水コンサルタントで働いている人がいたこともあって、上水道・工業用水道・下水道を専門とするコンサルタントである当社を志望しました。

現在は主に、下水道事業における計画設計に携わっています。また、下水道事業において、人口3万人以上の市町村に続き、人口3万人未満の市町村で令和5年度までの官公庁会計からの公営企業会計への移行が総務省から求められていることを受けて、公営企業会計への移行に関する業務も行っています。

公営企業会計移行に伴う資産整理の業務は、今後の下水道使用料の金額の設定にも関わる特に重要な業務であるため、大変やりがいを感じています。

先輩には、仕事の内容をかみ砕いて分かりやすく教えていただいており、助かっています。

当社には、官公庁や民間企業での勤務を経験した方も多く勤務しているので、さまざまなノウハウが集結していることが強みだと思っています。

日常業務において不足を感じないくらいに、業務で必要な物品やリソースの準備が行き届いていることも当社の長所だと思います。

■学ぶ機会にあふれる会社

当社に関心を持たれた学生さんには、まずは今の学生生活を満喫されるとともに、来るべき社会人としての生活への意識付けにも努めていただければと思います。

また、下水道事業を通じて水環境をよりよくしていきたいという上下水道に対する強い気持ちを持つ方に来ていただければと期待しています。当社は、土木・建築・機械・電気など多方面にわたるさまざまな分野で上下水道事業に関わっていますので、必ず活躍できる分野があるはずです。

また、全国各地の自治体の方と関わる機会があり、大勢の方からさまざまなことを学ぶ機会があることもこの仕事の面白さだと感じています。

さまざまな資格を取得する機会にも恵まれています。社員同士がお互いを高め合うことができる会社です。入社後は、ぜひ私と一緒に高みを目指してがんばっていきましょう。



数十年先も生きる施設を



安部日鋼工業
中部支店工事部主任

北瀬 昭平さん

■社会に貢献しているプライド

大工だった父の背中を見て育ったので、小さい頃から現場にいることが大好きでした。気がつけば大学時代もコンクリート構造を学ぶ研究室に入り、就職活動でも土木構造物を扱う企業ばかり見ていました。縁あって安部日鋼工業に入社し、今年で工事部一筋11年目になります。

昨年の12月から、長野市内における容量100立方㍍のPC配水池築造工事の現場代理人兼監理技術者として現場をマネジメントしています。一つ前の担当現場では現場代理人を務めましたが、監理技術者を兼任するのは初めてで、いわば現場トップのデビュー戦です。共同受注した地元企業と一緒に、発注者と協議を重ねながら、工事の施工管理全般を担っています。

日本で初めてPCタンクを製造したパイオニアである当社からみれば、今回の配水池規模は決して大きくはありません。それでもどんな現場にも苦労があり、今回で言えば寒冷地特有の気温との闘いです。生コンクリートは水分を含むため、外気温によって硬化の進行具合が変わり、養生に相当気を遣わなくては強度に影響を及ぼします。本当に生き物さながらの世話が必要です。その分、完成した時の達成感は言葉にならず、この上ないやりがいを感じます。

自分よりも経験豊かな職人さんたちを束ねる役割が難しくないといえば嘘になりますが、父の職場を見てきてある程度覚悟がありました。礼儀や謙虚さは必要ですが、オン・オフを大事に、一定の緊張感やプレッシャーを与える人間として現場にいることの方が、結果としていい仕事につながると思いますし、それが信頼関係をつくると感じます。実は入社して最初に就いた現場も長野市内で、今その時と同じチームで仕事をしています。「偉くなったな」と声をかけてもらった時はぐっときましたね。

配水池の水はそのまま蛇口に届き、災害時においても応急給水の拠点として働きます。当社の配水池は近年各地で頻発する地震災害でも貯留機能を失わなかった実績があります。

数十年先、いかなる時も使われ続ける施設をつくっている私たちは、社会に貢献しているというプライドをもって仕事をしています。風通しよく、女性活躍も進んでいる会社です。皆さんをお待ちしています。

水を仕事にする魅力、やりがい



クボタ環境サービス
上下水エンジニアリング部
大阪技術工事第一課

永島 駿介さん

■先輩たちが的確なフォローを

当社は、環境プラントの設計・建設・運転管理・補修・改築を業務としており、今月で創業から46年目を迎えます。

私はもともと機械が好きで、大学でも機械工学を専攻しました。就職活動をしている中で、クボタ環境サービスという会社が上下水道・環境プラントの日常業務において、非常に多くの種類の機械設備を動かし、プラントが24時間365日止まらずに運転し、人々の暮らしを支えていることを知り、そこに惹かれて入社を志望しました。

入社後の初めての仕事は、富山県内のプラントでの定期修繕業務です。入社1年目は、先輩に付いて現場を回っていましたが、2、3年目になって1人で現場を回り、業務を自分で完結できるようになることで、自身の成長を強く感じました。

先輩には、機械の状態に対し、五感を使い的確な判断ができる方や、危機管理面のノウハウを持つ方が多く、日々サポートしていただいています。現場に行く前にはアドバイスをいただき、トラブルがあった際にも、先輩方とチームを組んで、的確なフォローをいただけることを大変ありがたく感じています。

■好奇心を持ち気軽に質問を

冒頭、多くの種類の機械に携われることが当社の魅力というお話をしました。私は、下水処理場で使われている多様な機器に対する知識やノウハウの習得に今後も努めていきたいと思っています。

特にベルト型ろ過濃縮機や汚泥溶融炉といった下水処理プロセスの後段の機器に興味があり、周囲の人たちから聞かれたことに何でも答えられるスペシャリストになることを目指しています。同じ機器でも現場ごとで運転状態や条件が異なり、それに応じた対応が求められるため、大変やりがいのある目標だと思っています。

当社では新入社員寮・新婚社宅の提供や、休暇制度、在宅勤務制度等、福利厚生が充実しており、社員の生活を手厚く支援してくれる会社だと感じています。

入社において機械の知識が必ず必要かというと、そのようなことはありません。新入社員に求めることは、好奇心を持ち、自ら考えて行動し、最後までやり抜く気持ちです。さまざまなことに興味を持ち、先輩に気軽に質問してもらえれば、熱く丁寧な答えが返ってきますよ。



「プラント」に惹かれて

和で築き、技で育むTGS

東京都下水道サービス株式会社（ＴＧＳ）は東京都下水道局のパートナーとして、
東京都の下水道事業を補完・代行するため、社員が一丸となって下水道サービスの維持向上に努めています。



これからもＴＧＳは、確実な維持管理と革新的な技術でお客さまの信頼に応え、社会に貢献していきます。

TGS 東京都下水道サービス株式会社

『下水道展'21オンラインに
当社の技術を一同に出展いたします』

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 TEL 03-3241-0711 https://www.tgs-sw.co.jp

各社が誇る、現場で活躍する社員



要望に応え信頼を得る

ヴェオリア・ジェネッツ 岐阜営業所
業務主任（電算業務主任者）

服部 航平さん

■失敗経験を糧に

私は中途採用で当社に入社後、まずは電話受付業務を経験しました。前職は工場勤務の職種だったため、いわゆるBtoCの電話対応は未経験からのスタートでした。お互い顔が見えない状態でのやりとりは言葉遣いが重要です。頭では理解していたのですが、お客さまに対して適切でない言葉を口にしてしまい、お叱りを受けたこともありました。

この経験は、上司や同僚の対応を見て良いところを真似ることや、職場内コミュニケーションをとることの大切さを実感するものでしたし、自身のスキルアップにもつながりました。その後は、受信したデータの精査や検針員からヒアリングし課題をまとめる業務を経て、入社5年目になる今年4月から現在の職務に就いています。

■業務がつながる先

今は口座振替データの作成や、お客さまがお支払いになった料金の消込作業などの電算業務に携わっています。執務場所は上下水道料金センターから岐阜市上下水道部庁舎での勤務になり、以前とは業務形態もがらりと変わったため、一つひとつの業務がつながる先や内容をしっかり理解してから業務に当たるよう努めています。

業務内容に限ったことではありませんが、分からないことを分からないままにしておくことは自分のためにもなりません。委託者と同じ空間で仕事をしているからこそ得られる知識や経験もあると思いますので、自分は受託会社を代表してきているという自覚を持ち、日々委託者の要望に対して丁寧に応えることを意識し委託者からの信頼を得ることを目標にしています。合わせて自身のスキルアップやキャリア構築につなげていきたいとも考えています。

■強みは人の温かみ

私が転職活動をする上でポイントにしていた要素の一つが職場の人間関係です。もちろん入社前はネットで確認しただけで、実際のところは分かりませんでしたが、入社後の今、当社の強みを聞かれたら「人の温かみを感じられる職場」だと胸を張って答えます。

私自身、岐阜営業所から異動した経験はまだありませんが、上司にいつでも相談できる環境、同僚と活発にコミュニケーションを取れる環境が全国どの営業所にもあると思っています。中でも岐阜営業所には「愉快な仲間たち」が集まっており、得意なこと、苦手なことを補い合いながら職務に当たることのできる環境だと実感しています。



営業から施工管理まで

荏原実業
関東支社 主任

鈴木 清貴さん

■意志と〝考動〟

コロナ禍の緊急事態宣言を受けて、早急に週2回を目安とした在宅勤務の導入やテレワーク環境の整備が行われました。普段は車で営業しているので、事務所に戻らなくても出先や在宅でできる仕事の幅が広がり、重宝しています。社会の動きに合わせて積極的に対応を進めてくれるので、働きやすい環境が整っていると思います。

また仕事面においても、自分がやりたいビジョンへのチャレンジを後押しして経験を積ませてくれます。個人の個性を尊重してくれるので、自分のペースで仕事に取り組めるのではないでしょうか。

会社はいろいろな人が集まることで、何かが生まれる場所でもあります。考え方は人それぞれ。自分の意志で考えて行動できる方と仕事ができることを楽しみにしています。



■環境を守りたい

上下水道のポンプ機器などを主に扱う当社は、商社、メーカー、エンジニアリングと三つの顔を持っています。その中で私は、エンジニアリング事業で営業と施工管理を担当しています。関係部署とお客さまを仲介しての意見提案や協議、施工現場における現場指揮など、営業を軸として施工管理まで幅広く携わる仕事をしています。

昔から自然が好きだったため、環境に対しての意識を強く持っており、大学で環境工学を選ぶきっかけにもなりました。人間と切り離すことができないのが「水」。生命の源とも言われる物質は無限ではありません。環境の再生に向けて知識を深める中で漠然と水処理業界で働き、水環境を守る仕事で社会貢献していきたいという思いが募るようになりました。

■成長した今の自分

今年で入社8年目となりますが、入社時から確実にできることが増え、成長を実感しています。

入社2年目の現場では、コミュニケーション不足が原因で工事が中断してしまうという苦い経験をしました。叱られて落ち込むこともありましたが、上司や先輩のフォローもあり乗り越えることができました。

その後、5年目には初めて大型案件を任されました。一人で受注から施工まで担当し、老朽化した下水道の中継ポンプを更新するものでしたが、入社時からステップアップして重ねた経験が活かされたと思っています。コミュニケーションを常に心がけながら、責務を果たすことができ、大きな達成感を味わいました。

まだ不安も多くありますが、その中でも自信を持って仕事に打ち込むことができるのはこれまでの経験と、上司や先輩のフォロー体制があったからだと思います。

水を仕事にする魅力、やりがい

イメージを設計の形に

オリジナル設計
施設本部東日本施設部施設二課

田村 孝太さん



■かみ砕いて提案する仕事

水コンサルタントの仕事は、お客さまが持つイメージを設計により具体化させ、わかりやすく伝える仕事です。私たちが持ち合わせる技術力や知識量を存分に発揮して、相手が思い描くイメージに合致するものを形作っていきます。

■自分の仕事が誰かのために

人体の約70%が水という話があるように、水は私たちの生活に直結し、生きていく上で欠かせないものです。その水を運ぶ上下水道は、何不自由なく使用できることが当たり前と認識していました。しかし、実際にはその当たり前を維持するための下支えをしている仕事が存在し、私たちの日常が保たれていることに気づき、陰ながら社会を支えている姿に興味を持ったことが、水コンサルタントを知るきっかけになりました。

大学では、建築構造系の研究室に属していたので、特別水に詳しいわけではありませんでしたが、入社直後から東日本大震災で被災した処理場の復旧作業に携わった経験が「持てる知識を通じて誰かの役に立ちたい」という思いを強くしました。

今年で入社11年目になります。右も左もわからない状態からスタートした仕事でも、知識や技術を重視して設計を進めるため、デスクを離れた仕事も多くあります。要望を形にするまで、半年～3年の長期で進めていくので、お客さまと二人三脚で検討・提案を重ねながら、お互いに納得できるまで良いものを一緒に作っていく感じです。設計内容に対して良い評価をいただけた時は、正直嬉しいですね。





■新たな成長の糧に

コロナ前から積極的に働き方改革を進めてきたこともあり、全社員へのタブレットPCの支給や在宅勤務の導入など、かなり柔軟性を持っている会社だと思います。改善点があれば、若手・中堅社員が集めた意見を聞き入れる機会を設けているので、声が届いている実感があります。きっと自分に合った働き方が見つかるでしょう。

また、仕事面においてもOJTによる新人教育はもちろんのこと、部長などが相談役となる設計内容の審査会というものもあります。会社全体として、より良いものを提供するというイメージや方向性が共有できているからこそ、経験を踏まえた多角的な意見が新たな気づきを与えてくれる場にもなっています。

初めは誰もが初心者で、できないことのほうが多いです。互いに支え合いながら、一丸となって一つの成果品を作り上げるということが、自身の領域を広げ、成長につながっていくと思います。私たちとともに日常の水を守っていきましょう。



1946年に香川県で創業して以来、
たえず姿を変え続ける水の課題に向き合ってきました。
私たちは、常に考えています。
より良い社会のために、水を活用できないか。
より良い未来のために、水とどう接するべきか。
水環境や水インフラを通じて、暮らしを豊かにしていく。
エネルギー分野や、防災・減災への取り組みなど、
新たな可能性に挑戦し、その価値を拡げていく。
私たちは、水の綜合企業として、これからも進み続けます。

水をつくる、いかす、考える。
FUSO
株式会社フソウ

住所：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目3番1号　TEL：03-6880-2110　URL：https://www.fuso-inc.co.jp

就職活動応援特集

初仕事の成果が運用開始



栗本鐵工所　パイプシステム事業部
研究部防食材料グループ
安東　尚紀さん

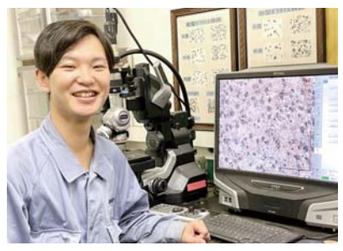
■防食材料の研究職

上下水道・農業用水用のパイプをはじめ、産業設備や社会インフラ製品などの製造を行うメーカーです。私は研究職として、防食材料（埋設環境や屋外環境で、鉄管の腐食による劣化を防ぐことを目的とした内外面の被覆材料に用いられる塗料やコーティング材）に用いる最適な素材の研究をしています。

防食材料グループでは、メンバーそれぞれが主担当のテーマの研究に日々励んでいます。研究は全て一人で行うわけではなく、互いに意見などを交換したり、実験の際にお互いに協力して各テーマに取り組むこともあります。また、工場内外で起きるトラブルやイレギュラーな事態への対応といった突発的な業務も発生するため、いつも自分の研究だけに没頭できるわけではありません。どのような場面でも上手く業務を進められるように、部署内外問わず周りの方と頻繁にコミュニケーションを取り、より良い信頼関係を築けるように意識しています。

■生産性向上に試行錯誤

入社2年目ですが、防食材料グループに配属されてからの初仕事として鉄管外面防食塗料の改良に携わりました。配属後すぐに塗料メーカーとの打ち合わせに参加しました。その際に、自分の意見を積極的に発言し、ディスカッションを行い、何度も改良を重ねた結果、ようやくこの8月から運用が始まります。私が初めて携わった研究なので本当にうまくいくのか不安もありますが、実際に採用されると考えると楽しみな思いです。



現在は、重防食に対応した新規塗料の開発に携わっています。製造現場で使用する塗料の作業性やリードタイムの短縮、品質向上がテーマです。例えば、現場で使用する塗料の種類を統合するための研究や、これまでより速く硬化乾燥する塗料の研究開発を行っています。もちろんコストとのバランスなどさまざまな観点から物事を見る必要があり大変ですが、先輩や周りの方のアドバイスを受けながら取り組んでいます。大変な分、開発できた時には達成感を感じられると思います。

■自分の軸を大切に

大学院では高分子化学を専攻していました。当社の技術系社員の中でも化学系出身は珍しいですが、面接の際に人事担当者に相談したところ、「防食材料なら専門分野を活かせる」とアドバイスされたことが入社につながりました。

就職活動では、「これだけは譲れない」という自分の「軸」を決めて、それを大切にしながら進めていくのが良いのではないでしょうか。私は水道業界以外にも自動車・電機メーカーなど、専門である化学メーカーから遠く離れた分野も視野に入れつつ、自分の「軸」を大切にしながら進め、今の会社に入社することを決めました。業界を絞った方がいいという考え方もありますが、私は業界を決めずに視野を広く持って探してみることも良いのではないかと思っています。

ニーズを図面にのせる



三機工業　環境システム事業部
水エンジニアリング部
水エンジニアリング2課　主任
河津　悠佑さん

■広く環境貢献する仕事

大学では環境プロセス工学科を専攻し、今年で入社6年目になります。入社から4年間は汚泥焼却炉、5年目からはエアロウイングⅡなどの水処理設備の設計担当として下水処理場の機械設備工事に携わっています。

下水処理場の大半で用いられている微生物処理では汚水中の酸素量のコントロールが重要で、エアロウイングはその要を担うものです。中でも最新機種のエアロウイングⅡは、業界トップクラスの省エネ性を実現した当社自慢の技術になります。世の中ではカーボンニュートラルへの関心が高まっていますが、私たちの仕事は水をきれいにするだけでなく、個々の設備・システムでの省エネ追究などを通じ、広く環境配慮型社会の実現を後押しするという大事な役割も担っています。

■図面からは読み取れないもの

案件を受注した後は、お客さまである日本下水道事業団（JS）や自治体の方とどのような設計をするか打ち合わせを行います。実際に設備設置予定の現場に足を運んでは、現場の話を聞いたり、現地調査を行います。図面上だと分からない〝生の声〟を的確に把握することが非常に重要です。お客さまのニーズと現場の声を汲み取り、こちらからアイデアを提案することもあります。施工現場の担当者と工事の進捗などを共有しながら、設備の試運転を行うまでが業務の流れになります。全体を通じて、お客さまや社内の他部署との意思疎通が大事な仕事ですので、コミュニケーションを密にとるように心掛けています。案件によっては年単位になることもあります。ようやく工事を終えた時、お客さまからの評価と感謝に喜びとやりがいを感じますね。

■下水道とAI・DX

インフラに興味関心はありましたが、当社の就職活動説明会などで交流した先輩社員の人当たりの良さ、そして社風が入社の決め手になりました。コロナ禍前は、社員同士の飲み会やゴルフコンペなどが開かれていたほど、役職の垣根を感じません。このような場があると、上司への業務の相談も気軽にできるのでありがたいです。



当社では脱水汚泥の含水率をAIで予測するシステムの開発を代表例に、下水道とAI・DXの融合に力を入れ始めています。さらには新型コロナウイルスをはじめとする感染症の拡大防止につながるリアルタイム監視システムの研究開発を手がけるなど、広く一般社会の課題解決にも貢献できることに誇りを感じています。

環境分野のみならず、情報活用社会の最先端で活躍したいと考えている学生の皆さまにも当社に興味を持ってもらえたら幸いです。

若手・中堅社員が語る

施工まで含めた設計立案



極東技工コンサルタント
大阪本社設計部係長
村上　優希さん

■施設完成までの一連を担う

配水池や浄水場（主に土木構造物）といった上水道施設の設計について、計画から実施設計、施工監理といった施設が完成するまでの一連の業務を担当しています。上下水道のコンサルタントをわかりやすく言うと、水道に関する業務で基本構想、計画、実施設計などを自治体に代わって行うのが主な仕事です。近年では、人口減少に伴う料金収入の減収や施設の老朽化、自然災害への対策などのさまざまな問題に対してコンサルティングしていく必要があり、責任が大きくなってきている仕事といえると思います。

■施工者の意見で意識変化

大学で土木を学んでいた縁から入社しましたが、水道のことはほとんど知りませんでした。しかし、入社1カ月後の5月から、ある自治体の配管設計業務の主担当者となりました。右も左もわからない状態で、資料作成や協議などさまざまな業務に明け暮れました。そんな中でも、会社の先輩や上司などが手取り足取りサポートしてくれたおかげで、役目を果たすことができました。私のコンサルとしての原点になった経験です。

入社3年目に浄水場内の配管の設計業務を行い、翌年に施工監理業務を担当した時に、自分が設計したものが形あるものとして作られていくのを目の当たりにして感動を覚えました。また、現場で施工に携わる業者の意見を参考にし、より良いものを作ることを意識するきっかけにもなりました。というのも、自分が設計した図面を見て、施工者から「こんな施工できないよ」と指摘されたことがありました。それを受けて、設計の段階でどうすれば問題なく施工ができるのかということに腐心しました。設計して終わりではなく、施工までを含めた設計を立案することができてこそのコンサルなのだなと思いました。

■資格取得の援助も

私は入社8年目の社員で、まだまだ勉強中の身ですが、最近「技術士（上下水道部門）」という専門資格を取得しました。自分でも努力したと思っていますが、会社としても資格保有者による勉強会の開催といったバックアップがあったことが取得につながったと思います。今年5月には係長に昇進したこともあり、この資格にふさわしい責任ある仕事ができればという思いです。



水処理にまつわる エンジニアリングを知る オンライン1DAY仕事体験



水処理にまつわる短期集中型オンライン 1DAY 仕事体験

水ビジネスに関心をお持ちの皆さんを対象に、オンラインのでグループワーク、具体的な技術職の業務体験などを通じて、水処理の事業フィールドを体感していただきます。私たちの水処理技術の裏側をお見せします!

〈事業内容〉
○水道事業…確かな技術により日本の安全でおいしい水を支えています。
○下廃水事業…汚水浄化、処理水の再利用など循環型社会の構築に貢献しています。
○産業用水・廃水事業…産業分野の水に関する多様なニーズに応えます。
○O&M 事業…技術とノウハウを活かし、上下水道施設の運転維持管理を行います。
○海外事業…合弁事業、ODA を通じ、さまざまな国の人々に貢献しています。

▽▼日程・詳細はこちらから▼▽
マイナビ 2023　リクナビ 2023





水道機工株式會社
〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5-48-16 TEL. 03-3426-2131 FAX. 03-3427-3388
http://www.suiki.co.jp

各社が誇る、現場で活躍する社員



さまざまな顧客ニーズに対応

ＪＦＥアドバンテック
水環境事業部 大阪営業グループ
安本 拓史さん

■LED式UV計の初採用現場に関わる

私は、2016年に入社して以来、水位計等の計測機器の販売の仕事に携わっています。

これまでで最も印象に残る仕事は、当社の新製品UV計（有機汚濁測定装置）が採用された第1号の現場に関わったことです。当社では、光源にLEDを採用し、水銀ランプ交換の手間をなくすとともに交換費用も削減した新製品「LED式UV計」を開発しました。この新製品を兵庫県内にある下水処理場に試供設置させていただき、2年間データを取り続けたところ、第三者機関の分析結果と良い相関関係が得られること、また光源の劣化も無いことが確認できました。この結果を自治体に報告するとともに、自治体の方からもご意見をいただいて社内にフィードバックして製品開発に反映し、販売体制を整えました。2018年に販売を開始したところ、その年のうちに採用していただくことができました。この時は本当にうれしかったです。入社してすぐに重要な仕事に関われたことは貴重な経験になりました。

今は、もう一つの新製品である「面速式超音波流量計」の拡販活動にも取り組んでいます。また、当社の主なお客さまは官公庁がメインですが、民間のお客さまにも当社の計測機器がお役立ちできると思い営業活動に取り組んでいます。

■新たな角度からの発信に期待

当社に入社する前、私は資機材メーカーで5年ほど働いていましたが、営業活動をしている中で、分野によってはメーカーが違っても製品の特徴がそれほど違わないことが拡販する上で悩みのタネになっていました。

そうした中で、耐震性に優れた特徴を持ち、投込圧力式水位計でトップシェアを誇る当社の存在を知りました。上下水道分野のさまざまな施設の中で製品が使われており、特徴ある商品やラインナップも豊富なことから、入社を志望しました。

当社は、会社が目指す方向性が明確に示されている一方で、その中において若手社員であっても権限が与えられ、自らでスケジュールを設定して営業活動を行うことができることが良いところだと思います。

男性社員でも育児休暇を取得しやすいなど、福利厚生が手厚いことも長所だと感じています。

このコロナ禍の中、今の学生は対面の授業がリモートや動画の授業に置き換わってしまうという経験をされていることと思います。今後入社される方には、こうした私たちが経験したことがない体験を基に、新たな角度から新鮮な提案を社内にどんどん発信していただければ、私たちにとっても良い刺激になると期待しています。



総合力基礎に、挑戦を支援

水ingAM
アセットマネジメント管理部
オペレーション管理課主任
櫻井 俊輔さん



■社会貢献できる会社

学生時代の専攻は心理学で、就職するまでは「水」とは無縁でした。社会貢献度の高い仕事に就きたいとの思いで水ingの前身である「荏原エンジニアリングサービス」に入社しました。

入社後は人事部を5年間、その後、オペレーション部門に特化した人事部門を3年経験し、現在の所属となり、入社から15年目となります。

この間、国内外における上下水道事業の環境変化、そして社内の再編もあり、状況は大きく変化しました。入社間もない頃からこの変化に関われたことが、常に変化を意識して行動するきっかけとなりました。

■仕事は未来へと

当社は全国300カ所以上のオペレーション現場とそこに勤務する約2700人のフィールドエンジニアを有しています。現在の部署では、主に彼らが担うオペレーション事業に関する計数管理を行い、経営情報として報告する仕事をしています。加えて、社内戦略の一環として、各オペレーション現場の情報を集約・共有するシステムの構築も担当しており、当社グループの力を一層高めていくための基盤づくりを進めています。

このような業務対応でもそうですが、私は一つひとつの業務でも狙いを持って取り組むこと、その仕事がつながっている未来を想像すること、そして可能な限り多くの現場のフィールドエンジニアとコミュニケーションを取ることを意識して日々の業務に取り組んでいます。

■強みは総合力

水ingグループの強みは総合力だと思います。その一例が危機管理への対応です。入社してからいくつもの大災害、そしてコロナ禍を経験しましたが、人命第一という方針の下、地域の水や環境を守るために、現場を一時も止めない迅速な対応力、そして持続させていく当社グループの力は、まさに総合力を体現していると思います。

そして、300以上のオペレーション現場が地域に密着して築いてきた信頼が総合力の根底にあると思っております。

日本全国に有するネットワークやオペレーション現場の日々の工夫と努力を当社の総合力としてより一層発揮させていくことがこれからの成長の鍵であり、その点ではまだまだ当社グループは成長ポテンシャルに満ち溢れていると思います。

当社グループが持ち合わせる性質を一言で表すと真面目さだと思っています。その中に、社員を大切にする、挑戦を応援してくれる気風があり、そこに私は居心地の良さを感じますし、何よりも胸を張って社会貢献ができる会社で働けていることは大きな誇りです。



水を仕事にする魅力、やりがい

ニーズ踏まえ成果を結実

月島機械
横浜支店課長代理
原木 正義さん



■お客さまのニーズを知る

大学では交通機械を専攻し、前職を経て平成18年に営業職として中途入社しました。横浜支店に勤務し16年目ですが、現在は神奈川県内で下水処理を実施している自治体が私のお客さまです。公共事業の発注は入札方式や消化ガス発電など、未利用であった汚泥の下水汚泥資源化技術や、設備の省エネ化による温室効果ガス排出量の抑制など、地球環境保全に資する技術群が当社の強みであり、自分の職務に誇りをもっています。

中でも過給式流動燃焼システムは、圧力下で汚泥を燃焼する画期的な技術で、従来に比べて大幅な省エネを実現しました。現在は全国各地で納入実績がありますが、開発当初は当然ながら、前例となる実績がありません。技術メリットと信頼性をご理解いただくため、実験プラントにお客さまをお連れし、懸命に技術説明をさせていただいたこともありました。同システムの受注として、自らが営業担当として取り組んだ、神奈川県の流域下水道があります。粘り強くPRし、受注に結び付いた時には、何事にも代えがたい達成感がありました。

受注までの苦労も、とても良い経験として胸に残った、地球環境問題に関心があり、技術で社会に貢献したいと思ったことが入社動機です。固形燃料化バックし、各自治体のニーズにマッチした形に反映させることが成果に結び付くため、とてもやりがいを感じています。

■環境技術で社会貢献



■職場環境

当社では働き方改革の推進と、新型コロナウイルスの感染拡大がきっかけとなり、横浜支店にサテライトオフィスが併設されました。

近隣在住の社員のオフィス利用や、プロジェクトミーティング等で活用することなど、新しい働き方を積極的に取り入れており、コロナ禍においても大変働きやすい環境が整っています。

また、社内研修制度も充実しており、過去にこの制度を活用し、模擬面接などのサポートを受け、国家資格である技術士を取得することができました。業務を通して充実して学べる環境も整っていると感じます。

環境問題や環境ビジネスに興味のある皆さんと、この業界で共に切磋琢磨していきたいです。

さらに続く、もっとつなぐ、明日へ、未来へ



KEEP THE LIFE LINE

水道管路機器のパイオニア、不断水の
大成機工株式会社
本社/大阪市北区梅田1丁目1番3
TEL.06（6344）7771（大代表）
www.taiseikiko.com

※本広告掲載の、製品の外観・仕様は予告なく変更する場合があります。

就職活動応援特集

東京の水道を支える



東京水道
水道技術本部管路整備部工務課 課長
安孫子 亨さん

■入社のきっかけ

建設会社から旧東京水道サービス（TSS、PUCが合併し2020年4月から東京水道〈TW〉に）に転職し、今年で14年目になります。前職で水道工事を多く施工してきた中で、さらに水道の知識や技術を深めたいと思い、水道専門の企業であるTSSへ入社しました。

これまで出先事業所で配水小管工事の設計や施工管理などの業務を担当しましたが、経験を生かせる場面も多く、また個人ではなく組織一体で同じ事業に向き合い、助け合いながら目標に向かっていく風土には大変心強さを感じています。

今年度から本社で各事務所の管路整備業務を総括・調整する立場となりました。現場からさまざまな問い合わせを受けるのですが、自分の回答がすなわち〝社の見解〟になるという責任を感じながら、これまでとは異なる業務に奮闘中です。

■仕事で感じる嬉しさ

今までの仕事で印象深いのは、設計業務に関する新事務所立上げに携わった時のことです。新規事業に試行錯誤しながら対応し、軌道に乗せたことは大きなやりがいがありました。昨年その事務所に所長として戻った時は感慨深かったですね。

また社内では、「若手を大切に育てたい」「若手に活躍してもらいたい」という気持ちが共有されていることをうれしく思っています。ベテラン社員もいれば私のような中途採用の社員もいますが、ルーツはさまざまでも、皆に共通して浸透していると実感しています。数年前に指導した社員が一人で立派に仕事をしたり、後輩を助けたりする姿を見ると達成感を覚えます。当社は業務の拡大によって社員の採用も拡大していることから、同期も多く、若手社員がたくさんの同期と切磋琢磨している姿はまぶしく、素直にいい環境だなと思っています。

■誇りと強み

当社は、局と当社で構成する「東京水道グループ」の一員であり、東京都水道局のパートナーとして東京の水道を支えています。水道はコロナ禍にあっても、いつ何時も欠かすことのできない最重要ライフラインであり、仕事が止まることはありません。中でもTWは単に一業務を受託、完了して終わりではなく、東京水道グループ、都庁グループの一員として、長期ビジョンをもって首都東京の水道に貢献している強みと誇りがあります。

そしてTWは現在、10年後、20年後に予定される東京都水道局からの営業系・技術系業務の移転という大きな目標に向けて準備を進めているところであり、働きやすい職場環境の整備にも積極的に取り組んでいます。

都の水道運営を共に支えていきたい、公共性と社会貢献度の高い仕事に携わってみたいという皆さんを心からお待ちしています。



若手・中堅社員が語る



東京設計事務所
関西支社プランニンググループ
上下水道第2チーム
高橋 開人さん

■若手を育てる環境

当社は「若手の力を伸ばすための職場環境作りを心掛けている会社」だと感じます。実際私も向き合って意見を聞いてくれる上司が多いので、業務に関する相談や質問がしやすい環境で働けています。自分を認めてくれる上司がいることで入社してからの日が浅くても自然と責任感を持つことができ、着実に経験を積むことができると感じています。また会社全体でも技術士を取るための講習会や社内での業務発表会を通して多方面からスキルアップが図れるため、将来的なキャリアパスの構築もしやすい環境になっていると思います。

学生の皆さまには、ぜひ会社説明会等に参加していただけたらうれしいです。そしてご縁があれば一緒に仕事できる日がくることを楽しみにしています。

若手の力伸ばす職場環境



■コミュニケーションで不安解消

私が勤める関西支社は2020年から社員の座席をフリーアドレス化したため、決まった座席がありません。出社してからその日の気分で自由に座った誰かとの会話が楽しみの一つになっています。また当社では在宅勤務の取組みも進んでいることから、私は週2日在宅勤務をしています。在宅勤務を始めた当初は業務の経験や知識がまだまだ浅いことから、一人きりで仕事ができるのか不安などころもありました。しかし会議ツールの活用によって、上司からアドバイスをもらったり同僚とコミュニケーションを取ったりすることが想像より容易にできたため不安は消えていきました。画面共有や複数人での会議も簡単に始められる便利さもあって、在宅勤務もかなり馴染んできています。

■用途に合った製品を

今年で入社7年目になります。東京営業部で3年間働いた後、現在の北関東営業所に配属されました。主に製品の提案営業のほかに、見積書等の書類作成、各種打ち合わせ、製品納入後の現場管理を含めたアフターフォローなどの業務を行っています。

製品を受注するためには、できる限りお客さまの元を訪問して説明することが重要だと考えています。その中で、製品をPRしてお客さまの用途に合ったものを提案していかなければならないので、まずは自社製品を誰よりも知ることが必要です。どの業界の営業職も同じだと思いますが、こうして自ら進めてきた案件の契約が決まった時が一番やりがいを感じます。

また、現場によって納入後に営業職がポンプやユニット装置などを試運転することもあり、自分で製品を動かし、お客さまへお引渡しするという魅力もあります。納入後の製品に触れる機会はなかなかないので、トーケミならではの特色の一つだと思います。

■コロナ禍の変化

コロナ禍においてお客さまの元へ訪問しづらくなったことは大きな変化だと思います。対面で話すことを重要視してきたので、戸惑いはありました。その反面、一度の話し合いが重要と考え、打ち合わせの準備をより入念に行うことなどのほか、体調を崩さないよう自己管理の徹底を心掛けています。

現在は、2級管工事施工管理技士の資格取得に励んでいます。こうした現場工事に関わる資格を取得することで、それぞれの現場やお客さまに寄り添った製品紹介ができるのではないかと思います。今後も資格取得とともに、自社だけでなく他社の製品も勉強していき、お客さまの要望に沿ったものを提案していきたいです。



製品提案からフォローまで



トーケミ
東日本営業部北関東営業所
矢部 剛史さん

■ろ材とポンプの二本柱

トーケミは、昭和35年に東洋ろ材工業とケミカルポンプが合併して現在の〝トーケミ〟となりました。水処理用ろ材とケミカルポンプの二本柱を中心に、撹拌機、ユニット装置、水処理装置など幅広く水処理に関わる資機材を扱っています。

就職先を探す際に水を扱う仕事とメーカーに憧れがあったため、トーケミを志望しました。なかでも当社は幅広い資機材のラインナップがあるので、多くの知識・経験が得られると思い、入社を決めました。

水と環境の創生コンサルタント
NSS 日本水工設計

ずっともっと
水と
ともに。

積極採用中!
インターンシップ受付中
←エントリーはこちら

（公社）全国上下水道コンサルタント協会会員
日本水工設計株式会社
代表取締役社長 本名 元
本社：〒104-0054 東京都中央区勝どき3-12-1
TEL.03-3534-5511 FAX.03-3534-5534
支社：東京・名古屋・大阪・広島・九州
https://www.n-suiko.co.jp

誠実を旨とし
優れた技術者を育て
良い作品を残す

TECグループ

TEC（テーイーシー）
株式会社 東京設計事務所
千代田区霞が関3-7-1
代表取締役会長 亀田 宏
代表取締役社長 狩谷 薫

TECI（テーイーシーアイ）
株式会社 TECインターナショナル
千代田区霞が関3-7-1
代表取締役社長 狩谷 薫

就職活動応援特集

各社が誇る、現場で活躍する社員

ゼロから挑戦、現場で成長



日本原料
セールスエンジニアリング部
牛島　大志さん

■ゼロから水道へ

学生時代はプログラミングを学び、水道とは無縁でした。

現在入社して3年目、セールスエンジニアリング部に所属しています。仕事の内容は、全国の浄水場のろ過池のメンテナンス（ろ過材入替・ろ過材更生）工事の施工管理と、お客さまとの現場でのコミュニケーションを通じた、ろ過池の課題に対するソリューションの提案です。

■責任の大きさ

入社後、現職に配属されて更生工事の施工管理をしています。先輩の指導の下、OJTを通じて施工管理のノウハウを学びました。ろ過池に入る前には必ず足下を消毒するなど、水道水を扱う責任の大きさを強く感じています。しかし、責任が大きいからこそ学び続けることが大切だと思っています。

現場では、いろいろなことが起こります。そのような時は先輩や上司とすぐにコミュニケーションがとれて、具体的なアドバイスがもらえる風通しの良さが当社の特長です。このような経験の積み重ねが自身のスキルアップにつながっています。



■やりがいと成長

これまで全国の浄水場に赴き、長いものでは数カ月にわたり施工管理を行ってきました。事業体の方々や地元の協力会社、他工事の工事会社の皆さん、社長賞をいただくこともできました。

■∞への挑戦

仕事に必要な資格を取得してきましたが、現在は土木施工管理技士に挑戦しています。資格取得に関するキャリアサポートや手当等も充実していますし、なにより先輩方の理解があるため、安心して学べる環境が整っています。

日本原料は1939年に創業し、ろ過材のパイオニアとして水道事業と共に歩んできました。私が担当する更生工事のろ過材の洗浄技術を磨き上げて生み出された浄水装置「モバイルシフォンタンク」は、国内外の自然災害で活用されています。

当社の採用コンセプトは「ゼロから∞（無限大）」です。私もゼロからスタートして、いつの日か、世界の水を担う会社に発展するために「ものづくり魂」を学んでいる途中です。ともに切磋琢磨していける皆さんのゼロからの挑戦をお待ちしています。

水を仕事にする魅力、やりがい

不可欠ゆえのやりがいが



日本水工設計
東京支社 下水道二部 施設設計課
寺地　裕康さん

■「刺さる」提案を模索

今年で入社3年目です。下水処理場を対象に、その耐震化や老朽化に合わせた再構築の設計を担当しています。自治体の担当者が何を求めているのかを聞き出し、それを設計書に落とし込み、提案するまでが私の仕事です。いかに相手に「刺さる」提案ができるか、模索する毎日で、相手の意図を上手く汲み取れず悔しい思いをすることもありますが、自分の提案を受け入れてもらえた時の喜びは何物にも代えがたいものがあります。

今は関東を中心に5、6カ所の現場を担当しています。コロナ禍では、直接会うことが難しい場合も多いですが、メールや電話やオンライン会議を活用して積極的にコミュニケーションを図るようにしています。

■「やりがい」ある仕事

学部時代は土木を専攻していて、地盤や構造物が興味の対象でした。ただ大学院に進学する段になって、土木という固い分野で微生物を扱う環境系の特殊さに不思議な魅力を感じ、結局、分野をガラッと変えて環境系を専攻することになります。

就職活動では、学部時代の地盤や構造物の知識、院時代の微生物の知識の両方を活かせると考え、水コンサルに絞って活動していました。その中で日本水工設計に決めたのは、社員の方の姿です。当時、私の大学があった広島県内で豪雨に伴う大規模な土砂災害が発生したのですが、研究室を訪問してくださった社員の方が、被災現場の調査を担当していて、水コンサルの仕事の大変さとともに、やりがいを直に感じ、入社したいという気持ちが高まったのです。



■「不可欠」が魅力に

最近は国の技術開発プロジェクトの採択を受けた雨天時にも安定した下水処理が行えるように、AIと膜処理とを組み合わせた技術の開発も担当しています。通常業務と同時進行なので忙しい日々ですが、研究成果を発表する場に出席できるなど充実しています。

下水道の仕事は、人が生活する上では不可欠なものです。特にこのコロナ禍でその必要性が改めてクローズアップされたのではないでしょうか。不可欠であるというのは、この仕事の一番の魅力です。

就職活動の間は、いろんな情報が入ってくると思いますが、どの仕事も大変さは変わらないと思います。自分が少しでも興味を持てる、自分の知識を活かせる、そういう点から就職活動を進めてみると良いと思います。やりがいを強く感じられるコンサルタントにも興味を持っていただけるとうれしいです。

広い視野がコンサルの魅力



NJS　東部支社東京総合事務所
アセットマネジメント2部 主任
高橋　真子さん

■入社からこれまで

学生時代は土木工学を専攻していました。入社後、自治体が下水道工事を行うために必要となる詳細情報を作成する、実施設計と呼ばれる業務の部門に配属となりました。主に長寿命化や更新計画に関する仕事を担当しました。

現有のインフラの状況を把握し、将来にわたり持続的に使っていくことが全国的に重要課題となっています。当社でも、これらの課題に対応した業務が増えており、私も4年目からは、入社後から関わってきた実施設計の仕事について「アセットマネジメント部」の中で担うことになりました。

■チームを大切に

アセットマネジメントの仕事は、自治体の現状、現場を把握することがとても大切です。自らの専門分野に限らず、土木、機械、電気など分野を超えたノウハウが求められます。

大切なのはチームワークです。当社には、専門分野の知識、ノウハウ、そして総合的な上下水道に関する業務経験を有する先輩方が数多くいます。そしてお客さまが必要とする情報を迅速かつ的確に提供することが求められます。社内インフラも充実し、プロジェクトにリモートで取り組む業務体制、業務を共有できる環境が整っています。コロナ禍への対応から、リモートワークや柔軟な働き方に対応できる環境整備も一層進みました。

■風通しの良い社風

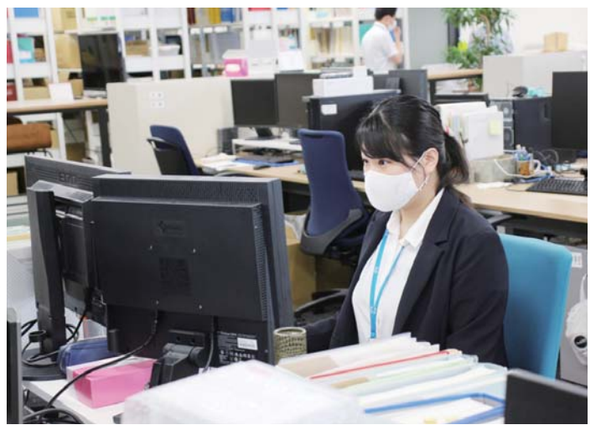
キャリアサポートが充実していることも当社の特長です。私も今、技術士の資格に挑戦中です。費用、そして学習の面でも会社のバックアップが受けられます。資格を有する先輩が多数おり、安心して挑戦できる体制が整っています。

性別や年代の隔てない、風通しの良いコミュニケーションが当社の特長です。上司や先輩方との積極的な意見交換ができ、刺激を受けています。仕事だけでなく、普段の心配ごとを先輩社員がサポートする「チューター制度」が導入され、経験年数が短い社員の不安に寄り添う体制もできました。

■これからのコンサル

いろいろな街の特性や、多様な立場や業種に触れ、広い視野で仕事ができることがコンサルタントの面白さだと感じます。アセットマネジメントの業務の中で、民間企業と自治体との関係性の変化を肌で感じています。

私は公務員や他業界にも幅を広げて就職活動をしましたが、自分の性格に合うと感じて、当社への入社を決めました。就職活動中の皆さんには、多くの企業、人と会うことをおすすめしたいです。当社に興味のある方からのアクセスもぜひお待ちしています。



おかげさまで70周年
70
水と環境のConsulting＆Software
NJS
公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会会員
株式会社NJS
代表取締役社長　村上 雅亮
〒105-0023
東京都港区芝浦1-1-1　浜松町ビルディング14階
TEL：03-6324-4355　FAX：03-6324-4356
https://www.njs.co.jp/



想い描いています
豊かな水との暮らし
OEC オリジナル設計株式会社
代表取締役社長　菅　伸彦
本社：〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町30-13
人 は 財 産

※本内容は企業へのアンケートを基に作成

上下水道関係企業　採用スケジュール

企業名	業種区分	募集人数／応募資格	採用スケジュール	会社説明会の予定	情報入手方法	過去3年間の採用実績	学生へのPR
株式会社東京設計事務所	コンサルタント	募集人数:10～15名 応募資格:大学院修了、大学卒、高専卒	12月～翌年3月:学内の業界／企業説明会へ参加 2月～:各支社で会社説明会を開催 4月～:採用試験	開催する	当社webサイト、リクナビ2022	3年間で29名（年平均10人程度）。全国の大学および大学院から。	東京設計事務所は創業以来60年、”社会、環境に貢献し、働きがいのある魅力あふれる企業を持続する”を経営理念として、国内外のお客さまのニーズに誠実に対応してきました。いま、働き方改革が国を挙げて進められています。当社を含むTECグループでは、ノー残業デーを始めとし、有休取得奨励日の設定、早朝勤務の推奨制度などワークライフバランス(WLB)の改善を目指して様々な施策を実施しており、在宅勤務制度の拡充に向けた検討も始めています。近い将来にはこれまでの制度の拡充や他の施策と合わせて残業ゼロを目指したいと考えています。
東京都下水道サービス株式会社	上下水道事業者および補完機関、運転管理･維持管理	募集人数:設備職　5～10名程度、土木職　5～10名程度 応募資格:大学院、四年制大学、国公立工業高等専門学校（本科･専攻科）対象 （設備職）機械･電気系学科を専攻し、翌年3月卒業予定者（土木職）土木系学科を専攻し、翌年3月卒業予定者	1～2月　インターンシップの実施 3月　合同就職説明会へ参加、会社見学会の実施 3～5月　会社説明会、選考会の実施	会社説明会は3～5月頃実施、インターンシップは1～2月頃実施。（当社HP、マイナビから予約･申込み）	当社HP、マイナビ等のウェブサイト、学校へ配布した求人票	2021年卒　31名 2020年卒　20名 2019年卒　22名	東京都下水道サービスは、東京都の政策連携団体です。東京下水道のグループの一員として、東京都下水道局とのー体的な事業運営を行い、下水道サービスの維持向上を目指しています。 また、豊富な経験に基づく高い技術力とノウハウを活用し、広い視野を持って、下水道事業を総合的に運営する企業として、下水道事業に貢献しています。 社会に貢献しているという、誇りと信念をもって働けるわが社で、一緒に下水道事業を盛り上げていきませんか?
株式会社トーケミ	メーカー（ろ過材、ポンプ）	募集人数:2～3名 応募資格:大卒以上（学科問わず）	会社説明会（3～12月） 1次面接（6～12月） 2次面接（6～12月） ※内々定･内定は随時	3月以降随時（コロナの影響で採用を見合わせる可能性あり）。参加方法はリクナビから会社説明会エントリー。	リクナビ、求人受付NAVI	2020年度　1名（神戸大） 2019年度　1名（岡山理科大） 2018年度　2名（京都府立大、近畿大） ※上記は新卒のみ	さまざまな分野で使われる浄化システムの設計･製造･販売を行う、業界トップクラスの「ろ過材メーカー」です。創業以来黒字経営を継続。仕事とプライベートの両立が図れ、安心して仕事に取り組んでいただける環境が整っています。
日本原料株式会社	メーカー（機械、ろ過材）、運転管理･維持管理	募集人数:4～8名 応募資格:大学院･大学･短期大学･専門学校･高等専門学校を2022年3月に卒業･修了予定、または、卒業･修了後3年以内（2019年以降卒業）で、就業経験の無い方、入社までに普通自動車運転免許を取得可能な方（AT限定可） 総合職:技術開発本部（機電系出身者のみ）･セールスエンジニアリング部･水処理事業部（学部不問）	会社説明会→1次選考（面接･筆記試験）→2次選考（面接）→最終選考（社長面接） ※通年採用 ※既卒者の入社時期については、応相談	7月以降も会社説明会を実施。（マイナビ2022にて、説明会の日程を公開）	当社新卒採用HP（https://www.genryo.co.jp/recruit%20-%20proper.html） 新卒採用Twitter（@genryo_saiyo）	2021年　4名 （東京医科歯科大大学院、千葉大、関東学院大、帝京科学大） 2020年　3名 （昭和音楽大、日本外国語専門学校、専修大） 2019年　2名 （東洋大、近畿大）	おそらく日本原料という社名もご存知なかったと思いますが、普段皆さんが使っている水道水をつくるために使われるろ過材の国内シェアが80%、No.1を誇る会社です。ものづくり企業として、ろ過材だけでなく、新しい浄水場のかたちも提案しています。まだ世の中にないものを生み出すことに、無限大の可能性を信じて0から挑戦し続ける。皆さんから挑戦を、お待ちしています。
日本水工設計株式会社	上下水道事業者および補完機関、コンサルタント	募集人数:【技術職】約15名（土木設計、建築設計、機械設計、電気設計）、【営業職、管理系総合職】若干名 応募資格:大学･大学院･高等専門学校を卒業 【技術職】理系学生対象（土木、建築、機械、電気、その他） 【営業職、管理系総合職】学部学科不問	3月上旬～　企業説明会実施、適性試験実施 3月下旬～　面接実施（複数回） 技術職社員との業界･仕事理解のための座談会実施 4月中旬～　内々定	【インターンシップ】 夏（7～9月）、秋･冬（11～翌年1月）実施予定（リクナビインターンシップサイトより申込） 【説明会】 毎年3月以降随時実施（マイナビおよびリクナビに求人広告掲載予定、エントリー後に説明会画面より申込み）	当社HPおよび求人広告（マイナビ･リクナビ）に採用情報を掲載予定 （採用連絡先） 0120-971-439 recruit@n-suiko.co.jp	2021年　12名 2020年　12名 2019年　13名 （主な出身校）東北大、筑波大、茨城大、埼玉大、山梨大、広島大、山口大、九州大、熊本大、宮崎大、東京都立大、東北工業大、東北学院大、前橋工科大、日本大、中央大、法政大、東京都市大、東京理科大、芝浦工業大、東洋大、千葉工業大、名古屋工業大、名城大、大阪工業大、摂南大、近畿大、仙台高専　他	日本水工設計は水インフラを通して社会に貢献するコンサルタント会社です。顧客である自治体から上下水道等に関する課題･ニーズをヒアリングし、調査･計画･設計や上下水道事業のマネジメントによって街づくりを支えています。社内ではワークライフバランスのためのノー残業デー実施や有給休暇の取得推進、コロナウイルス感染拡大防止のための時差出勤や在宅勤務の取組みなど、今後も社員が働きやすい環境づくりに力を入れていきます。今夏もインターンシップを開催予定ですので、人々の生活を支える仕事で社会に貢献したい方はぜひご参加ください。
株式会社フソウ	建設（全般、上下水道他綜合水処理業）、エンジニアリング（上下水道システム全般、プラント、管路）、メーカー（主に水輸送用鋼管及び異形管、各種水処理装置）、運転管理･維持管理、その他（上下水道水処理施設におけるO&M）	募集人数:25名 応募資格:高専、大学、大学院を卒業見込	3月1日より会社説明会･選考スタート→適性検査(web)→面接2回→内定	夏季インターンシップ:7～9月 冬季インターンシップ:10～翌年2月 説明会:3月～ 参加方法はいずれもマイナビ2022およびマイナビ2023からエントリー	マイナビ2022、マイナビ2023、当社HPリクルートサイト	2021年度　17名 2020年度　14名 2019年度　19名	フソウは創業から70年以上、人々の生活に欠かせない「水」に寄り添いながら、全国の都道府県･区市町村の上下水道事業に取り組んでまいりました。現在の事業活動は全国の支社支店を軸に、上下水道施設の設計･施工･メンテナンスを行う建設部門、管材･資機材の販売部門、鋼板製異形管を製作する製造部門の3つの部門がそれぞれ地域に寄り添う事業活動をしています。また、建設業という職種の特徴を踏まえ、社員の病気やけがなどに備え、人間ドック(年齢に関わらず会社負担)を受診してもらい予防措置を講じています。さらに、万がー、病気にかかったとしても長期障害所得補償(GLTD)を会社として行い、社員の皆様に安心して働いてもらえる環境づくりを行っています。

株式会社 極東技工コンサルタント http://www.kgc21.co.jp

大阪本社　大阪府吹田市南金田2-3-26 ファー･イースト21 ／ 東京本社　東京都台東区上野1-10-12 商工中金･第一生命上野ビル

水&環境の総合コンサルタント

Integrated consultant of water and environment

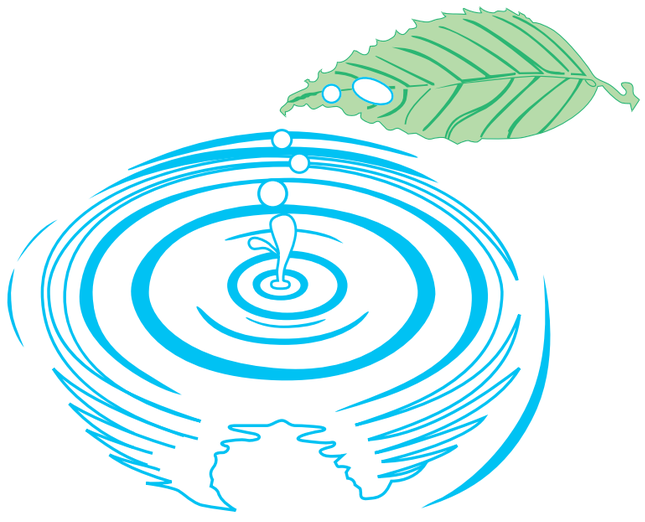
社員は、会社の「財（たから）」です。
建設コンサルタント業界においては、他社に先駆け、年間を通じた週1回以上の定時退社および6月～10月には全社ノー残業マンスを実施し、残業時間の低減を実現するとともに、社員のワークライフバランスを大切にしています。

心身ともに健康で充実した社員が一丸となって、昭和49年（1974年）の創業以来、蓄積してきた技術力をさらに向上させ、地域に密着したサービスで水を育み、環境を守り、暮らしを豊かにする真のコンサルタントを目指しています。



大阪本社社屋

生命の水を守ります。



（公社）全国上下水道コンサルタント協会 会員
（一社）管路診断コンサルタント協会 会員
●調査●事業計画●実施設計●施工監理●診断●コンピューター解析

株式会社 三水コンサルタント　代表取締役社長　山 﨑 義 広

本社/大阪支社　〒530-0005 大阪市北区中之島6丁目2番40号　TEL.(06)6447-8181(代)　FAX.(06)6447-8196
東京本社/東京支社　〒112-0002 東京都文京区小石川5丁目5番5号　TEL.(03)5976-9060(代)　FAX.(03)5976-9077
中部支社　〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目13番1号　TEL.(052)684-9300(代)　FAX.(052)684-9301
西部支社　〒810-0801 福岡市博多区中洲5丁目6番28号　TEL.(092)282-7050(代)　FAX.(092)282-7055
東北支社　〒981-0912 仙台市青葉区堤町1丁目1番2号　TEL.(022)728-7205(代)　FAX.(022)728-7207

※本内容は企業へのアンケートを基に作成

上下水道関係企業　採用スケジュール

企業名	業種区分	募集人数／応募資格	採用スケジュール	会社説明会の予定	情報入手方法	過去3年間の採用実績	学生へのPR
JFEアドバンテック株式会社	メーカー（電気、計測機器）	募集人数:3名（設計技術、研究開発職） 応募資格:高専卒以上　理系卒予定	3月　会社説明会開始 6月　選考開始	説明会:3月より随時 インターンシップ:8月24日および9月10日に開催 マイナビより申込み。	当社HPおよびマイナビ	2021年度　3名 （神戸大、鳥取大、同志社大） 2020年度　0名 2019年度　2名 （近畿大、岡山理科大大学院）	・各種計測計量機器装置のシステム開発・製造・販売をしている研究開発型企業です。 ・売り上げの約70%が当社独自もしくはシェアトップの製品です。 ・・JFEグループの会社で関西（西宮市）を拠点としています。
水道機工株式会社	建設（全般）、エンジニアリング（上下水道システム全般、プラント）、メーカー（機械、電気）、運転管理・維持管理	募集人数:5～10名 応募資格:大学・大学院卒業予定の理系	会社説明会（随時）→面接・適性検査（随時）→内定（随時） 説明会や面接はオンラインで実施。	随時受付中。 リクナビ、マイナビよりエントリーを受付。	当社リクルーティングサイト、リクナビ、またはマイナビ	2021年4月　6名 2020年4月　5名 2019年4月　6名 （出身校）北海道大、信州大、筑波大、お茶の水女子大、東京都立大、横浜市立大、早稲田大、東京理科大、中央大、東京農業大、金沢大、立命館大、九州工業大　他	水道機工は、水にまつわるさまざまな課題解決に挑んでいます。それは、だれかにとっての「あたりまえを創ること、そしてあたりまえを守ること」。大きな組織では掴みにくいチャンスや経験も、当社なら望む人が得ることができます。少しばかり規格外れでも、生意気でも、自信過剰でも、本人にやる気があればウェルカムな社風です。次の世代のあたりまえを創る仕事。そんな将来をともに描ける人材を求めています。
水 ing株式会社	エンジニアリング（プラント）、メーカー（機械）、運転管理・維持管理	新卒採用は、「総合職」「フィールドエンジニア職」の2コースにて実施。 募集人数:【総合職】20～25名程度（高専・大卒・院修了合計）、【フィールドエンジニア職】50～70名程度（高卒・短大卒・専門卒・高専卒・大卒・大学院修了合計） 応募資格:【総合職】学部学科不問、【フィールドエンジニア職】学部学科不問	【総合職】 2月～:会社説明会（web） 3月～:選考 【フィールドエンジニア職】 3月～:会社説明会（web） 4月～:選考	【総合職】8月～翌年2月に実施。HP上で随時登録受付中 【フィールドエンジニア職】秋～冬期ごろに実施、インターンシップサイトにて都度受付連絡 （参加方法） 【総合職】HP上から登録後、応募方法や日程を随時告知 【フィールドエンジニア職】インターンシップサイトにて登録後、応募方法や日程を随時告知	総合職、フィールドエンジニアともに当社HP、マイナビ	2021年度 総合職　26名 フィールドエンジニア職　59名 2020年度 総合職　21名 フィールドエンジニア職　43名 2019年度 総合職　19名 フィールドエンジニア職　74名	水ingは、水と環境をいつまでも支え続ける企業でありたいという想いで、水処理施設の設計・建設から運転管理・運営までをトータルに手掛けるプラントエンジニアリング企業です。最大の資産は人である、という考えのもと、新入社員研修、階層別研修、キャリアと仕事についての考えを深める「キャリア研修」等さまざまな施策があります。また、社会の変化に柔軟に対応し、多様な働き方の選択を可能にすることで、生産性向上を目指すことを目的とした各種制度があります。 フィールドエンジニア職は全国の上下水道などのインフラ施設や民間施設で運転管理を担っています。人々の生活に必要不可欠な水を届けるエッセンシャルワーカーとして責任感と誇りを持って日々業務にあたっています。
大成機工株式会社	メーカー（管路資機材）	募集人数:10名程度 応募資格:2022年3月までに高専、大学、大学院を卒業見込	3月～　合同企業説明会、会社説明会 4月～　選考(書類選考、筆記選考、面接) 5月～　内々定	3月より説明会実施 マイナビよりエントリー	当社HP、マイナビ	2021年度　5名 2020年度　10名 2019年度　9名	大成機工は創業以来、一貫して上下水道・ガス管路の維持管理に携わり、「特殊継手」「不断水工事」「老朽管更生工事」などの独自技術を通じて、常に業界をリードして参りました。2021年には創業80周年を迎え、有給取得の推奨や時差出勤・在宅勤務の実施など働きやすい職場環境づくりを行っております。また、従業員表彰も充実しており、熱意のある従業員には、それに応じた評価を反映する制度が整っております。
月島機械株式会社	エンジニアリング（上下水道システム全般、プラント）、メーカー（機械）、運転管理・維持管理、上下水道用設備、機器の計画から設計、建設、運転管理まで、トータルエンジニアリングを提供。また、産業分野（化学、鉄鋼、食品）向けも計画から建設まで一貫してエンジニアリングが可能	募集人数:20名前後 応募資格:高専、大学、大学院卒業見込	2022年2月以前　各大学の説明会に参加・インターンシップ開催 2022年3月　エントリー受付開始・会社説明会開催 2022年6月　選考開始（個別面接実施）	インターンシップは2021年9月～2022年2月、説明会は2022年3月。オンライン形式を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況次第で対面形式へ変更する可能性あり。	コーポレートHP、各大学の求人票、マイナビ、業界地図（日経）、就職四季報、日本水道新聞、日本下水道新聞	2021年入社　30名 2020年入社　29名 2019年入社　25名 （主な出身校）北海道大、室蘭工業大、北見工業大、弘前大、東北大、長岡技術科学大、群馬大、埼玉大、筑波大、茨城大、宇都宮大、東京都立大、千葉大、横浜国立大、横浜市立大、静岡大、名古屋大、京都大、大阪市立大、九州大、宮崎大、早稲田大、中央大、明治大、法政大、青山学院大、立教大、成蹊大、武蔵大、芝浦工業大、東京農業大、千葉工業大、工学院大、日本大、東洋大、神奈川工科大、大阪工業大、獨協大、玉川大、昭和女子大　他	月島機械が100年以上の歴史の中で磨き上げてきた技術を活用して、日常生活に欠かせない水インフラを支えております。当社は、水処理から汚泥処理まで多種多様な製品を取りそろえており、「環境技術で世界に貢献する」という企業理念のもと、省エネルギーや下水汚泥からの創エネルギー技術で地球温暖化防止に取り組んでいます。情熱をもって仕事に取り組む社員が多く、1年目からプロジェクトメンバーの一員として成長できる環境です。
東京水道株式会社	上下水道事業者および補完機関、検針・窓口・サービス	募集人数:土木職（大卒、高専卒、専門卒）60名程度、設備職（高専卒、専門卒）20名程度、事務職（大卒）40名程度、IT職（大卒）5名程度 応募資格:（土木系）土木工学系の学部・学科を専攻し、卒業見込、または卒業後3年以内。（設備系）電気・機械系の学部・学科を専攻し、卒業見込、または卒業後3年以内。（事務職及びIT職）学部・学科不問で卒業（修了）見込、または卒業後3年以内。	3～4月　会社説明会（合同企業説明会および個別説明会） 5月　選考前イベント（現場見学会など） 6月1日～　選考試験 ※以降、随時選考試験を実施	説明会はwebにて随時実施中。（マイナビ2022にて説明会予約受付中） インターンシップは9月6日（月）～10日（金）の5日間のプログラムにて実施。（対象校へ案内済）	当社HPまたは「マイナビ2022」の当社ページ	2021年度　86名 2020年度　99名 2019年度　87名 （出身校）学習院大、駒澤大、早稲田大、中央大、東京都立大、東京農業大、東洋大、日本大、法政大、立教大、愛知学院大、金沢工業大、山口大、東京高専、都立産業技術高専、苫小牧工業高専、八戸工業高専、長岡工業高専、香川高専　他	令和2年4月1日、東京水道サービス株式会社と株式会社PUCが合併し、東京水道株式会社として、新たな一歩を踏み出しました。当社は、東京都水道局の技術系現場業務およびお客さま窓口やコールセンター（お客さまセンター）の運営等、一社で水道のほぼすべての事業範囲をカバーし、IT事業部門も備えた「日本最大級の水道トータルサービス会社」となりました。 当社では、常に働きやすい職場づくりや現場業務の改善に取り組んでおり、ライフワークバランスの実現により、一生涯をかけて安心して仕事ができる環境が整っています。人々の暮らしや都市活動に欠くことのできない水道事業の運営を担い、将来にわたり成長し続ける東京水道株式会社に、是非皆さまの応募をお待ちしております。



東京の水を守り、未来をつくる

POINT
・技術、お客さまサービス、ITで東京都の水道事業をトータルにサポートする安定企業
・都民に安全な水を届ける社会貢献度の高い仕事
・社会インフラを支えるスケールの大きなやりがい
・習得できる幅広い水道技術とノウハウ
・充実した福利厚生と明るく活気のある職場

仕事を通じて「社会に貢献したい」「技術力を身につけたい」が実現できる会社です







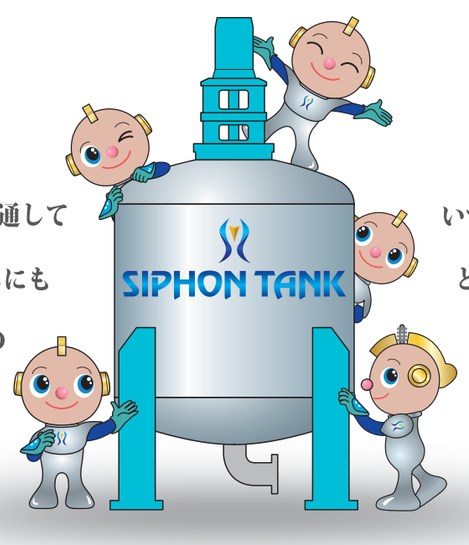

HP採用情報
Twitter
Instagram

TOKYO WATER　確かなサービスで、水と人の未来を創る　東京水道株式会社
〒163-1337　東京都新宿区西新宿6-5-1　新宿アイランドタワー37階　TEL（03）3343-4560（代）

NIHON CENRYO

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

“0”から“∞（無限大）”
ものづくりのおもしろさ



ものづくりを通して
子どもたちにも
輝く生命の
日本原料は SDGs の
いつの時代に生まれる
どこに暮らす人々にも
水を届けたい
達成に貢献しています

https://www.genryo.co.jp
日本原料株式会社　〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町1-2　TEL.044-222-5555　FAX.044-222-5556

※本内容は企業へのアンケートを基に作成

上下水道関係企業　採用スケジュール

企業名	業種区分	募集人数／応募資格	採用スケジュール	会社説明会の予定	情報入手方法	過去3年間の採用実績	学生へのPR
管清工業株式会社	運転管理・維持管理、その他（上下水道管路施設の総合維持管理）	募集人数:20名前後 応募資格:特になし（ただし現場作業に関しては、運転免許取得必須）	1次募集 3月上旬～　筆記試験・第一次面接試験→　4月下旬　第二次面接試験 2次募集 4月下旬～　筆記試験・第一次面接試験→　6月下旬　第二次面接試験	インターンシップは秋頃～2月まで実施、会社説明会は3月より実施予定。 マイナビよりエントリー。	マイナビ、求人NAVI、当社HP	2021年　26名 2020年　20名 2019年　14名	管清工業は創業当初より、下水道管路の維持管理という仕事に誇りと使命感を持ち、市場を開拓してきました。業界のリーディングカンパニーとして、効率性と安全性を追究し、AI・ICT技術を活用した新技術・ロボット開発にも注力しています。また、当社では社員がモチベーション高く長く働くことができるようさまざまな研修や資格取得支援制度、福利厚生サービスを用意しています。より重要性が増すエッセンシャルワーカーとして、下水道を通じ最前線で暮らしを支えます。
株式会社極東技工コンサルタント	コンサルタント	募集人数:技術職7名（土木・建築・機械・電気）、営業職3名 応募資格:技術職　高専卒以上（土木工学系、建築学系、機械工学系、電気工学系）、営業職　大卒以上（学部・学科不問）	3～11月:会社説明会および採用選考（筆記試験、面接試験）の実施 10月1日:内定式	会社説明会は3～11月末まで毎月開催、インターンシップ（1day業務体験）は6月～翌年2月末まで毎月開催。 マイナビよりエントリー。	マイナビ	2020年度　6名 （技術職5名、営業職1名） 2019年度　4名 （技術職1名、営業職3名） 2018年度　3名（技術職） （出身校）東北学院大、長岡技術科学大、東京農業大、千葉工業大、京都橘大、立命館大、大阪工業大、岡山商科大、福岡大	「水&環境の総合コンサルタント」として、上下水道を中心とした社会インフラの整備を行い、地域住民の安心・安全な生活や環境保全に貢献しています。発注元は100%官公庁のため、安定性の高い企業です。社員を財産と考える人"財"育成として、資格取得支援や社内勉強会、女性社員会議を開催するなど、社員一人ひとりに成長と活躍の場があります。また、ノー残業デー、ノー残業マンスといった独自の制度を取り入れ、社員の働きやすさを追求しています。
クボタ環境サービス株式会社	エンジニアリング（プラント）、運転管理・維持管理	募集人数:20名 応募資格:理系学科	インターンシップ夏（8、9月）、冬（12～2月） 会社説明会（3～5月）	インターンシップは8月17、19、30日（大阪）、9月7、9日（東京）。 対面で実施予定（コロナの状況によってオンラインに変更）。 リクナビより受付中。	リクナビ2023	2021年　23名 2020年　24名 2019年　19名	クボタ環境サービスは環境プラントの設計・施工・維持管理、または技術開発をしており、総合エンジニアリング企業として「水処理・ごみ焼却」の分野において、川上から川下まで携わる事業を展開しております。幅広い提案でお客さまの課題を解決し、地球環境の保全と地域社会の発展に努めています。
株式会社栗本鐵工所	エンジニアリング（プラント、管路）、メーカー（機械、管路資機材）	募集人数: 【技術系総合職】20名（予定）、【事務系総合職】10名（予定） 応募資格:2022年3月卒業見込み	マイナビ2022サイトからエントリー（自由応募）。学校推薦の場合は当社人事Gまで連絡。その後、履歴書の提出、面接（複数回）・SPI・適性検査等。	夏季インターンシップ:8～9月に実施、随時受付中 冬季インターンシップ:12～翌年1月頃開催予定、11月～受付開始予定 「マイナビ2023」の「説明会・セミナー画面」にて申し込み。	マイナビ2022・2023、当社HPなど	2021年　29名 2020年　30名 2019年　13名 （主な出身校）大阪大、京都工芸繊維大、高知工科大、関西大、鳥取大、豊橋技科大、上智大、関西学院大、徳島大、大阪市立大、大阪府立大、金沢工業大、同志社大、近畿大、兵庫県立大、名古屋工業大、三重大、岡山大、佐賀大、熊本大、岡山県立大、東京理科大、立命館大、大阪工業大、関西外国語大、広島工業大、九州大、福岡大、久留米高専　他（過去3年実績より）	栗本鐵工所は、水道・電気・通信・道路などの「ライフライン」および、自動車・化学・金属・食品・エネルギー業界の「機械・プラント」に関わる、製品と技術を提供しています。幅広い事業と高い技術力で、新たな技術の開発にも力を入れている会社です!ぜひ、自分の仕事が世の中に貢献するこのやりがいを、一緒に感じてみませんか?（年間休日125日+有給・特別休暇アリと私生活も充実!）
三機工業株式会社	建設（全般）、エンジニアリング（上下水道システム全般、プラント）、メーカー（機械）、運転管理・維持管理	募集人数:90名程度 応募資格:2023年3月卒業見込みの大学院生、学部生、高専生、専門学校生、高校生の方。	3月　説明会開始 6月　選考開始 10月　内定	8月～翌年2月にかけて随時開催予定。 マイナビ・リクナビ・当社マイページから受付。	マイナビ・リクナビ・当社マイページよりエントリー	2021年　95名 2020年　88名 2019年　82名 （採用実績校）大阪大、九州大、京都大、慶応義塾大、東京大、東北大、名古屋大、北海道大、早稲田大　他　全国国公立私立大学　全120校、全国の高等専門学校全22校	三機工業は三井グループの主要企業の一つとして設備業界を牽引してきたリーディングカンパニーです。創立100周年に向けて事業を展開しており、浄水や下水道事業といった水関連事業以外にも空調・給排水衛生・電気・情報通信などの建築設備、工場や空港での物流・搬送システム、ごみ処理プラントといった社会インフラの構築を手がけています。将来のエンジニアとなる皆さまからのご応募を心よりお待ちしております。
株式会社三水コンサルタント	コンサルタント、運転管理・維持管理	募集人数:7名 応募資格:土木工学、建築学、機械工学、電気工学、環境工学の学科またはこれらに準ずる学科を専攻し、2022年3月に高等専門学校、専門学校、四年制大学、大学院修士課程を卒業（または修了）見込み。	1～2月～会社説明会実施、会社訪問受付→3月試験、面接→6月選考→採用決定	随時受付中。 学校からの紹介、本人からの電話、Eメール等によるエントリー。	当社HP、大学へ配布する会社パンフレット等	19名 （出身校）室蘭工業大、北見工業大、徳島大、日本大、東北学院大、大阪工業大、大阪産業大、明星大、大阪経済大、岡山商科大、大分高専	上下水道という生活に密着しているインフラストラクチャーを行政とともに守り、社会に貢献する企業です。社員一人ひとりがのびのびと働くことができる労働環境整備にも注力し、ワークライフバランスと働きがいの向上にも努めています。





上下水道関係企業　採用スケジュール

水を仕事にする各企業は、業種、規模ともに多様性を有する。各社の特徴に関するＰＲとともに、各企業の直近の採用スケジュール、社員募集の状況と応募方法、そしてこれから展開されるインターンシップや会社説明会の予定、参加方法を一覧で紹介する。

※本内容は企業へのアンケートを基に作成

企業名	業種区分	募集人数／応募資格	採用スケジュール	会社説明会の予定	情報入手方法	過去3年間の採用実績	学生へのPR
株式会社安部日鋼工業	建設（全般）、プレストレストコンクリート〈PC〉構造物（配水池・橋梁・建築・まくらぎ）の設計・施工、PC構造物・鉄筋コンクリート〈RC〉構造物の耐震補強・補修・維持修繕の設計・施工	募集人数:20名前後（施工管理、製造管理、営業、事務等） 応募資格:なし	毎年10月より、応募受付開始（2022年卒業生の求人募集受付中） 応募書類受領後、一次試験を実施（最寄りの支店、本社にて） 合格者は役員面接（岐阜本社にて）により合否を決定（一次試験の結果により、役員面接を待たず内々定の可能性あり） 応募から合否の通知まで通常2週間から3週間程度（役員面接前に内々定とする場合は1週間以内）	随時受付中 申込みに応じて実施（一人ずつ、個別に対応可）。 webシステムまたは対面により会社説明、質疑応答を実施。 職場および施工現場の見学等も受付。	当社HP、就職情報サイト（マイナビ、キャリタスUC、求人受付NAVI）等	2021年4月　18名 （大学卒13名、高専卒1名、高校卒4名） 2020年4月　19名 （大学院修了3名、大学卒12名、高専卒2名、高校卒2名） 2019年4月　10名 （大学卒7名、高専卒1名、高校卒2名） （出身校）岐阜大、鹿児島大、埼玉大、秋田大、東北学院大、千葉工業大、金城学院大　他	日本初のPC（プレストレストコンクリート）製タンクを手がけてから改良を重ね、近年のICTも活用し、大規模な災害の中で「水を守る」ことのできるタンクを日本全国で建設している会社です。 すべての社員がその能力を十分に発揮できるようにするため行動計画を策定し、勤務地本拠地制度と時間単位有給休暇取得制度の導入、現場でのiPad活用促進等、ワークライフバランスの実現に向け積極的に取り組んでいます。一緒に技術を繋いでいきましょう!
ヴェオリア・ジェネッツ株式会社	上下水道事業者および補完機関、建設（全般）、エンジニアリング（プラント）、メーカー（機械）、運転管理・維持管理、検針・窓口・サービス、その他（漏水調査、水質検査等）	募集人数:15～20名程度 応募資格:2023年3月卒業見込みの大学院生、学部生、高専生、専門学生、高校生の方 【技術系】土木（都市環境工学）・機械・電気・化学・生物・農学・建築・情報工学・資源・地球環境学専攻の方、その他理系専攻の方 【事務系】全学部・全学科	2022年3月より会社説明会を開始し順次選考、内々定2022年10月1日 ※高校生のみ9月以降に選考開始	【インターンシップ】 2021年9月:高専生・機電土木専攻の大学生向け（10日間） 2022年1～2月:理系大学生・院生向け（1～2日間） 【会社説明会】 2022年3月以降より順次 【参加方法】 マイナビ2023よりエントリー、もしくは当社採用アドレス<JP.HRS.VWJ.RECR.ALL.GROUPS@veolia.com>へ直接メールにて連絡	就職情報サイト（マイナビ2023）、 当社webサイト（https://www.veolia.jp/ja/recruit/top）	2022年入社　15名（予定） 2021年入社　11名 2020年入社　12名 （出身校）東京大、東京工業大、京都大、大阪大、筑波大、慶應義塾大、早稲田大、中央大、立命館大、東京農業大、各高専、専門学校　他	ヴェオリア・ジェネッツは、総合環境サービス会社として水・廃棄物処理・エネルギーの3事業を行っており、上下水道事業については料金徴収業務や施設の施工管理から運転管理まで170カ所以上の自治体から業務を受託しています。社員個々人の多様性を活かし、誰もが自身の能力を存分に発揮して活き活きと働ける職場環境づくりを目指しています。人々の当たり前の生活を支える社会インフラの仕事に興味のある方、ご応募お待ちしております!
株式会社NJS	コンサルタント	募集人数:26～30名 （技術系30名程度、事務系若干名） 応募資格:学部卒または大学院卒（土木、建設、都市工学、衛生工学、環境工学、生物工学、建築、機械、電気・電子）	会社説明会（3月以降）参加、エントリーシート提出、適性検査の受験を経て面接を概ね3回実施。 面接は、一次面接はオンライン、二次面接および最終面接は対面で実施。	1day仕事体験を8月より随時開催。また、新型コロナウイルス感染防止の観点より、公募での長期インターンシップ（1週間～1カ月）は行わない。 会社説明会はオンラインにて2022年3月より適時開催予定。 参加申込は、専用マイページもしくはマイナビ2023より。	マイナビ等の採用ナビサイト、就職四季報等のリクルート向け雑誌・媒体、当社HP等	2021年4月　30名 （北海道大、岩手大、福島大、群馬大、筑波大、東京都立大、長岡技術科学大、信州大、豊橋技術科学大、鳥取大、山口大、東京理科大、千葉工業大、法政大、東京都市大、日本大、東洋大、工学院大、東邦大、東京農業大、関西大） 2020年4月　17名 （埼玉大、静岡大、和歌山大、信州大、大阪市立大、広島大、山口大、千葉工業大、明治大、東洋大、日本大、中央大、東京農業大、名古屋工業大、龍谷大、近畿大） 2019年4月　22名 （北海道大、岩手大、東北大、埼玉大、広島大、琉球大、愛媛大、宮崎大、千葉工業大、東京理科大、法政大、東京電機大、中央大、日本大、東洋大、東京農業大、大阪工業大）	・人材育成に力を入れており、技術研修、プレゼンテーション研修、語学研修、海外業務研修、技術士試験勉強会等、キャリアステップに合わせたさまざまな社内研修、資格取得支援が充実しています。また、トレーナー・トレーニー制度（OJT）、メンター（仕事以外のケア）制度を設け、早く会社と仕事に馴染める環境つくりに取り組んでいます。 ・健康経営に注力し、ヘルスチェック機器（スマートウォッチ・体組成計・専用アプリ）の配布や、禁煙外来補助等を行っています。（くるみんマーク・健康優良法人認定取得済） ・奨学金返済負担の軽減のため、奨学金返済に関する補助制度があります。
荏原実業株式会社	エンジニアリング（プラント）、メーカー（機械）	募集人数:20名（総合職・一般職） 応募資格:全学部全学科　四年制大学卒業(高専生は専攻科)以上	1月ごろ～　1dayイベント 3月ごろ～　会社説明会・ES提出・適性検査・面接・内々定通知開始 10月～　内定通知開始	3月ごろ～会社説明会（参加必須・随時実施）。 マイナビページまたは当社HPの採用情報からエントリー。	当社HP、マイナビ	2021年　21名 2020年　7名 2019年　14名	荏原実業で働くやりがいは、環境保全と社会貢献です。地域社会に密着した生活インフラを守り、豊かな生活を支え、人々の快適な未来を創ります。ノー残業デーやプラスワン休暇制度、退職金制度や会社加入の保険制度、社宅制度など、働きやすさの向上にも取り組んでおり、安定して長く働くことができます。世界中で、持続可能な開発への意識が高まっています。かけがえのない地球を守るために、ぜひ一緒に働きましょう。
オリジナル設計株式会社	コンサルタント	募集人数:10名程度 応募資格:理工系学部を専攻、2023年3月卒業見込	夏から冬にかけて、主要都市で1day仕事体験（インターンシップ）を開催し、企業理解を深めていただく。 3月に入り会社説明会を実施し、応募受付を開始。その後応募に応じて順次採用選考を実施。	インターンシップ（1day仕事体験）は夏から冬にかけて、会社説明会は3月に、それぞれ主要都市で対面にて実施（一部オンラインあり）。 一部大学では学内で企業説明会を開催。 当社採用情報サイトまたはマイナビ2023から申込み。 大学で開催される説明会については大学で案内された方法で申込み。	当社採用情報サイト（https://www.oec-solution.co.jp/6recruit/）またはマイナビ2023	2021年　15名 2020年　13名 2019年　14名 全国の国公私立大学・高等専門学校から採用実績あり	オリジナル設計は上下水道などの水インフラを支える建設コンサルタントです。当社では、日々の市民生活を支えているという社会的使命をやりがいとするとともに、時差出勤制度や在宅勤務制度の導入、ノートPCと無線LAN整備によるフリーアドレス化など、「フレキシブルワーク」（柔軟性のある働き方）を進めています。また従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践している企業として「健康経営優良法人」に認定されるなど、「人財」を重視した「ウェルビーイング経営」を行っています。



\私たちは上下水道インフラの「ココ」で仕事をしています/

企業名（順不同） ＼ 業務範囲	業種区分														水道										下水道（汚水）								下水道（雨水）						
	上下水道事業者および補完機関	建設（全般）	建設（特定分野）	コンサルタント	エンジニアリング（上下水道システム全般）	エンジニアリング（プラント）	エンジニアリング（管路）	メーカー（機械）	メーカー（電気）	メーカー（管路資機材）	メーカー（その他）	運転管理・維持管理	検針・窓口・サービス	その他	法律、規制および法律・規制に準じる制度検討	事業経営および事業経営に関連する計画検討	取水	浄水	配水	給水	メーター	宅内（家庭内での水利用）	料金	法律、規制および法律・規制に準じる制度検討	事業経営および事業経営に関連する計画検討	宅内（排水設備、浄化槽）	下水道管路	下水処理	汚泥処理	汚泥再利用	使用料	法律、規制および法律・規制に準じる制度検討	雨水事業に関連する計画検討	宅内（雨水ます、貯留浸透槽など）	雨水管路	雨水ポンプ	雨水浄化処理
安部日鋼工業		●*1															●*2	●*2	●*3									●*4	●*5								●*6
クボタ*7	●	●		●	●	●	●	●	●	●		●		●*8		●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●
管清工業												●		●*9												●	●							●	●	●		
栗本鐵工所						●	●	●		●								●	●									●										
JFEアドバンテック									●		●*10						●	●	●							●	●	●	●					●	●	●	●	●
大成機工										●							●	●	●								●											
トーケミ											●*11							●									●										●
東京水道	●												●				●	●	●	●	●		●							●								
東京都下水道サービス	●											●														●	●	●	●	●				●	●	●		
ヴェオリア・ジェネッツ*12	●	●				●		●				●	●	●*13		●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●
荏原実業						●		●										●	●									●	●							●	●
クボタ環境サービス						●						●					●	●	●	●								●	●	●						●	●
三機工業		●			●	●		●				●					●	●	●	●		●			●			●	●	●						●	●
水道機工		●			●	●		●	●			●					●	●	●									●									●
水ing						●		●				●						●										●	●	●						●	●
月島機械					●*14	●*14		●				●					●	●	●	●					●			●	●	●							
日本原料								●			●*15	●							●									●									
フソウ		●	●*16		●	●	●				●*17	●		●*18			●	●	●	●							●	●	●	●						●	●
NJS				●											●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
オリジナル設計				●											●	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
極東技工コンサルタント				●											●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
三水コンサルタント				●									●		●	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
東京設計事務所				●												●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
日本水工設計	●			●											●	●	●	●	●	●			●	●	●		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●

*1 プレストレストコンクリート（PC）構造物（配水池・橋梁・建築・まくらぎ）の設計・施工、PC構造物・鉄筋コンクリート（RC）構造物の耐震補強・補修・維持修繕の設計・施工　*2 （施工事例）RC構造物の耐震補強・補修　*3 （施工事例）PC配水池の設計・施工（新設・更新・耐震補強・維持補修）　*4 （施工事例）OD処理槽　*5 （施工事例）卵形消化槽　*6 （施工事例）雨水貯留槽　*7 クボタグループ会社での対応を含む　*8 IoTソリューション　*9 上下水道管路施設の総合維持管理　*10 計測機器　*11 ろ材、ポンプ　*12 包括業務からコンセッションまで対応可能です。　*13 漏水調査、水質検査等　*14 上下水道用設備、機器の計画から設計、建設、運転管理まで、トータルエンジニアリングを提供。また、産業分野（化学、鉄鋼、食品）向けも計画から建設まで一貫してエンジニアリングが可能。　*15 ろ過材　*16 上下水道他綜合水処理業　*17 主に水輸送用鋼管及び異形管、各種水処理装置　*18 上下水道水処理施設におけるO&M

就職活動応援特集

水の仕事に興味を持ったら 知っておきたいキーワード

広域連携

水道・下水道の施設は誰のものでしょう？家の敷地の中にある物を除けば、おおよそ自治体のもので、皆さんの住んでいる自治体が施設の所有者と思って間違いありません。

「水道局」「下水道局」との呼び方がよく使われますが、それぞれの自治体には水道・下水道を担当し、経営している部署があります。

自治体では今、水道・下水道のプロの職員が減っています。そして人口が減って得られる料金収入も減り、自治体の上下水道の経営体力が弱っています。そこで、広がっているのが広域連携です。

隣同士の自治体で一緒にできる仕事がないか、一緒に上下水道の施設を持つことで管理しなければならない施設を減らせないか、技術力のある職員が複数の自治体を担当できないか、各地で連携が進んでいます。

そして連携が進めば、自治体の仕事を受ける民間企業にもスケールメリットが出ます。



奈良県では県域一水道に向けて覚書を締結

官民連携

日本の上下水道の経営は、ごく一部を除いて自治体が行っています。

この新聞に掲載されている企業は、自治体から施設の設計・建設・管理を任されたり、施設を作るために必要な機械や材料を製造、供給しています。自治体が持つ公的な役割と民間企業が持つ技術力や生産力、そして地域を問わずに仕事ができる機動力が組み合わさって上下水道事業は成り立っています。

自治体の中は、人事異動がつきものです。また、近年は職員数も減り、上下水道の専門ノウハウを持つ職員の確保が難しくなってきました。

そこで専門的なノウハウに長けた民間企業に業務をまとめて、任せていく動きが急速に進んでいます。

民間企業が担える仕事の幅が広がり、ビジネスチャンスが拡大しているとも言えるでしょう。

上下水道を経営する自治体にとって、民間企業はこれまで以上に重要なパートナーになっています。


宮城県は「みやぎ型管理運営方式」実施へ

強靱化

日本においては地震、台風、そして火山の噴火など自然災害と付き合っていくことが不可欠です。東日本大震災や令和元年東日本台風などでも被災の影響は大きく、復旧・復興に係る労力、費用も非常に大きなものです。避けられない自然災害の被害を未然に防ぐ、または被害を受けた場合でも早期に立ち直れる体制を作ることが「強靱化」です。

これは上下水道施設ではとても重要な考えです。災害の時に水道・下水道が使えなくなることは、人命に関わります。

上下水道の管路や建物は地震に強い構造を持つことが特長ですが、古い施設は災害に弱い場合も多くあります。

日本の上下水道施設を災害に強いものに造り変えること、より災害に強い材料や設計方法の研究、または災害が起きて水道、下水道が使えなくなった場合に、すぐに復旧できる技術を開発することなどが水を仕事にする民間企業の重要な仕事になっています。


熊本地震で被災した下水道管路

豪雨対策

日本を襲う自然災害の中でも近年深刻化しているのが雨による被害です。気候変動の影響により、雨の降り方が大きく変化しています。一度に降る雨の量の増加、線状降水帯の発生による豪雨の長期化などにより、全国各地で甚大な被害がもたらされています。

下水道は使った水をきれいにするだけでなく、街を浸水から守ることも重要な役割です。各地で雨の降り方が変わる中で、全国各地で下水道による浸水対策が急速に進んでいます。水道では、豪雨による土砂災害の被害や川の水が濁ることで浄水場の運転に支障が出る被害が相次いでいます。上下水道の施設は川の近くにあることから浸水してしまうことも多くあり、各地で耐水化を進めています。

今年4月、「流域治水関連法」という法律が国会で成立しました。日本の雨に対する考え方を大きく変える法律であり、豪雨対策はますます重要になっていきます。


東日本台風で被災した浄水場の取水堰

デジタル・グリーン

デジタル化は社会全体の流れとして認識しているかと思います。では、グリーンは何かと言うと「脱炭素」です。世界はデジタルとグリーンに向けて大きく舵を切ろうとしています。そしてこの流れに上下水道も大きく関わっています。

水道では、各戸に設置する水道メーターが「スマートメーター」という通信機器を備えた機械に少しずつ変わってきています。また、上下水道ともに施設の設計、建設、管理でもAI・IoTによる業務の効率化や高度化が進んでいます。

グリーンについては、上下水道ともに、水を運ぶこと、水をきれいにすることに大量のエネルギーが消費されていますが、日本が2050年のカーボンニュートラルの達成を目指す中で、上下水道全体、そしてものづくりの分野においても、脱炭素の推進が重要な課題となってきます。

デジタル・グリーンはこれからの水の仕事に変化と成長をもたらす重要なキーワードとなるでしょう。


ICT／IoTを活用した維持管理が進む

公衆衛生

コロナ禍の影響で「公衆衛生」という言葉が多く聞かれるようになりました。公衆衛生は、上下水道の基礎となるキーワードです。

上下水道は言うまでもなく便利な暮らしと都市活動を支えるインフラですが、日本で整備が進んだきっかけは「死の病」から守ることでした。

江戸から明治期にかけて流行したコレラは、菌が入った水を媒介にして流行が拡大しました。そこで、安全な水を利用できるようにするために水道が、病原菌を含んだ汚れた水を街の中から排除するために下水道が普及しました。

水道法、下水道法ともに、その目的を示す第1条には「公衆衛生の向上」が明記されています。

コロナ禍において、水道はうがい・手洗いに不可欠な存在です。新型コロナウイルスは、呼吸器系感染症のため下水道から感染することはありませんが、下水中のウイルスを検知することで流行状況を把握できる技術が注目を集めています。


下水を採取して行う疫学調査

マンホールカード

水の仕事に縁が無くても、街を歩けば水を身近に感じさせてくれる存在、それがマンホールです。中には電気やガスなどのマンホールもありますが、街を歩いて目にするマンホールは下水道または水道に関連するものが大半です。マンホールに書かれた文言やデザインが水の仕事への理解を深めるための入口と言っても過言ではないかもしれません。

今、下水道のマンホールがカードになって、国民の注目を集めています。下水道マンホールは自治体によってデザインが異なることが特徴です。中には、地域の文化や名産品、さらには地元出身の人気マンガ家やアーティストの作品をデザインしたものもあります。それら「マンホールカード」を全国の多くの自治体が配布し、そのコレクターが増えています。カードの種類は8月までに779種（580自治体）に達します。

マンホールカードから下水道、水への理解を深めていくことも立派な業界研究でしょう。



各地の特色を活かしたマンホールカード

水道水回帰

かつて日本人は水道水を蛇口から飲むことが当たり前でした。1990年代ごろからボトル水が一般化し始め、次第に日本人は蛇口から遠ざかっていきました。2000年代からは、特定の採水地の水を大型のボトルに詰めたウォーターサーバーも普及しています。

しかし今、脱プラスチック、脱炭素の大きな流れの中で水道水への回帰が顕著に進んでいます。

政府が令和2年に行った水の飲み方の世論調査では「水道水をそのまま飲む」との回答が43・9％でした。前回調査した平成20年から6・5ポイント上昇しています。

世界で水道水をそのまま飲める国は、日本を含めて8カ国しかないと言われています。水道水の価格は、地域差はありますが同じ量に対してボトル水のおおよそ1200分の1です。

全国では水道水のウォーターサーバーの普及も進んでいます。蛇口回帰がサスティナブルな社会を象徴する事象として注目されています。


全国の事業体が水道水ウォーターサーバーを設置

